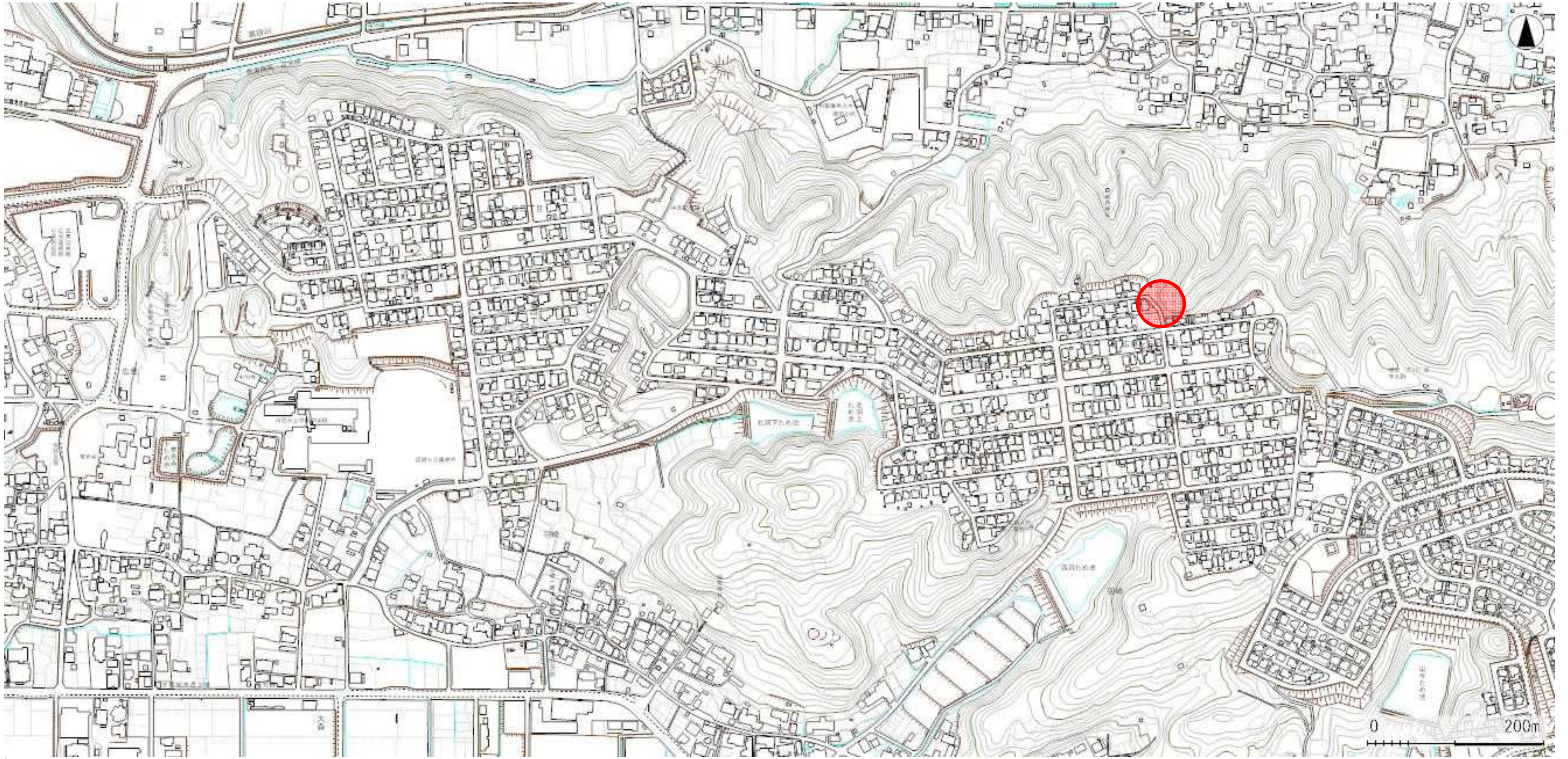
課　　長	係　　長	検　　算	設　　計

事業年度	平成　29　年度
事業種別	
工事番号	維工-6

工事名　市道2025号線（広眺ケ丘）補強盛土工事

可児市　建設部　土木課

箇 所 図



件　　名	市道 2025 号線（広眺ケ丘）補強盛土工事		
施工場所	可児市　　広眺ケ丘　　　　地内		
金　　額	円	内消費税相当額	円

理　　　　　由

可児市広眺ケ丘地内の市道 2025 号線に対して、道路面の沈下、側溝の段差、玉石積み擁壁の変状が見られる事から、詳細測量設計を実施し、法面補強が必要と判明したため、補強工事を実施する。

概　　　　　要

延長　L=45.0m

土工	一式
法面植生工	A=246 ㎡
補強盛土工(ｼﾞｵﾃｷｽﾀｲﾙ敷設)	A=446 ㎡
側溝工(RU300A)	L=45m
路側防護柵工	L=31m
舗装工	A=124 ㎡

特　記　仕　様　書

１．一般事項

（１）受注者は、工事請負契約書、可児市建設工事共通仕様書及び特記仕様書に基づき施工するものとする。なお、特記仕様書は共通仕様書に優先する。

（２）受注者は、本工事が「可児市工事品質証明実施要領」の対象となる場合、要領に基づき品質の証明を実施しなければならない。

（３）受注者は、受注時、変更時、完成時の各時点において工事請負代金額が500 万円以上の工事について、工事実績情報システム（コリンズ）に基づき、受注・変更・完成・訂正時に工事実績情報として「登録のための確認のお願い」を提出し監督員の確認を受けた後に、受注時は契約後、土曜日、日曜日、祝日等を除き10 日以内に、登録内容の変更時は変更があった日から、土曜日、日曜日、祝日等を除き10 日以内に、完了時は完成後、土曜日、日曜日、祝日等を除き10 日以内に、訂正時は適宜登録機関に登録申請をしなければならない。変更登録時は、工期、技術者に変更が生じた場合に行うものとし、工事請負代金のみの変更の場合は、原則として登録を必要としない。ただし、工事請負代金500万円未満に変更する場合には変更時登録を行うものとする。なお、変更時と完成時の間が10日間に満たない場合は、変更時の提示を省略できる。

（４）提出・提示書類は別添「可児市建設工事における取扱い書類一覧表」に基づき実施するものとする。また、工事打合簿（指示、協議、承諾は除く）、材料確認簿、夜間・休日作業届けの書類を提出する場合は、所定の様式に基づき、電子メールにて提出するものとし、書面には署名または押印する必要はないものとする。これらに定めのない事項については、監督員と協議する。

（５）本工事において以下に示す建設機械を使用する場合は、「特定特殊自動車排出ガスの規制等に関する法律（平成 17 年法律第 51 条)」に基づく技術基準に適合する機械、または、「排出ガス対策型建設機械指定要領（平成３年 10 月８日付建設省経機発第 249 号、最終改定平成 22 年３月 18 日付け国総施第 291 号)」、「排出ガス対策型建設機械の普及促進に関する規定（平成 18 年３月 17 日付け国土交通省告示第 348 号)」もしくは「第３次排出ガス対策型建設機械指定要領（平成 18 年３月 17 日付け国総施第 215 号)」に基づき指定された排出ガス対策型建設機械（以下「排出ガス対策型建設機械等」という。）を使用しなければならない。

排出ガス対策型建設機械等を使用できないことを監督員が認めた場合は、平成７年度建設技術評価制度公募課題「建設機械の排出ガス浄化装置の開発」、またはこれと同等の開発目標で実施された民間開発技術の技術審査・証明事業もしくは、建設技術審査証明事業により評価された排出ガス浄化装置を装着した建設機械を使用することができるが、これにより難い場合は、監督員と協議するものとする。

排出ガス対策型建設機械あるいは排出ガス浄化装置を装着した建設機械を使用する場合、現場代理人は施工現場において使用する建設機械の写真撮影を行い、監督員に提出するものとする。

機　　種	備　　考
一般工事用建設機械 ・バックホウ ・トラクタシャベル（車輪式） ・ブルドーザ ・発動発電機（可搬式） ・空気圧縮機（可搬式） ・油圧ユニット （以下に示す基礎工事用機械のうちベースマシンとは別に、独立したディーゼルエンジン駆動の油圧ユニットを搭載しているもの：油圧ハンマ、パイプロハンマ、油圧式鋼管圧入・引抜機、油圧式杭圧入引抜機、アースオーガ、オールケーシング掘削機、リバーサーキュレーションドリル、アースドリル、地下連続壁施工機、全回転型オールケーシング掘削機） ・ローラ類 （ロードローラ、タイヤローラ、振動ローラ） ・ホイールクレーン	ディーゼルエンジン（エンジン出力７．５ｋｗ以上２６０ｋｗ以下）を搭載した建設機械に限る。
・オフロード法の基準適合表示が付されているもの又は特定特殊自動車確認証の交付を受けているもの ・排出ガス対策型建設機械として指定を受けたもの	

２．産業廃棄物の適正処理について

（１）受注者は、産業廃棄物が搬出される工事にあたっては、監督員の指示に従い、産業廃棄物関連書類の提出及び確認並びに処理施設の現地確認並びに建設廃棄物処理状況の管理を行い、産業廃棄物が最終処分に至るまで適正に処理されていることを確認しなければならない。

（２）建設発生土については、工事間流用とし、流用先は監督員が指示する。都合により工事間流用ができなくなった場合は、別途協議する。ただし、建設発生土が 100㎥ 未満の場合はこの限りではない。また請負者の都合により処分場を変更する時は監督員に報告するものとする。

（３）建設発生土については、「岐阜県埋立て等の規制に関する条例」、及び「岐阜県建設発生土管理基準」に基づき管理するものとする。

３．使用材料
（１）アスファルト再生合材について
本工事で使用するアスファルト再生合材には「ささゆりクリーンパーク溶融スラグ」を混入するものとし、使用にあたっては、「溶融スラグの土木資材への利用に関するガイドライン（可児市）」によること。
（２）コンクリート二次製品について
本工事に使用するコンクリート二次製品については、ささゆりクリーンパーク溶融スラグ混入資材を使用するものとし、施工前に溶出試験結果等の品質を証明する書類を提出し、監督員の許可を得ること。
（３）生コンクートについて
本工事に使用する生コンクリート（均しコンクリートを除く）については、水セメント比60％以下とし、品質を証明する書類を提出して、事前に監督員の許可を得ること。

４．工事施工について
（１）契約書18条第1項第1号から5号に係る設計図書の照査を行い、監督員の確認を受けて施工を行うこと。
（２）受注者は、工事着手に先立ち、現場付近の地元住民及び通過交通者に対する周知、説明、説得等を行い、また学校、隣接家屋者への事前説明、自家用車・人の出入り等の調整を図り、トラブルの生じないよう努めること。
（３）工事による既設構造物の破損については、未然に防止するよう予め十分調査をし、また、支障を及ぼさないよう相当の防護工を施工しなければならない。なお、誤って損傷を与えた場合は、受注者の責任において復旧しなければならない。調査に際しては、記録保存の必要を認めた場合は写真撮影、測量等を行わなければならない。
（４）工事着手前に、可児市基準点（世界測地系）を用い、境界（座標）を確認すること。また、特に指示しない限り、構造物を官民境界とするため、官民境界と構造物の位置を示した図面等にて施工した構造物が民地を侵していないことを報告すること。
（５）施工区間と現道との取付については、交通の支障とならないよう充分留意すること。
（６）必要に応じ交通誘導警備員を配置し、安全を期さなければならない。また、夜間の安全確保についても十分な対策を施すこと。
（７）工事着手前に地下埋設管等の調査、ﾏﾝﾎｰﾙ等占用物の高さの確認、調整を行うこと。また、施工中は、ﾏﾝﾎｰﾙ等の段差において、交通の支障とならないような段差擦り付けを行うこと。なお、擦り付け勾配は５％以下とする。（ただし、沿道の状況等によりやむを得ない場合、８％以下）
（８）施工区間と現道との取付については、交通の支障とならないよう充分留意すること。

５．工事保険について
本工事において、発注者、受注者及び全下請人を被保険者として、工事着手から工事目的物の引渡しまでの期間について、賠償責任保険（保険対象：第三者に与えた損害）及び工事保険（保険対象：工事目的物、工事材料及び仮設物等）に加入するものとする。

６．ワンデーレスポンスの取組について
（１）この工事は、ワンデーレスポンス実施対象工事です。
「ワンデーレスポンス」とは受注者からの質問、協議、報告、承諾願、立会願等への回答は、基本的に「その日のうち」に回答するよう対応することです。ただし、即日回答が困難な場合は、いつまでに回答が必要なのかを受注者と協議のうえ、回答期限を設けるなど、何らかの回答を「その日のうち」にすることとする。
（２）実施にあたっては、可児市工事監督におけるワンデーレスポンス実施要領に基づき実施する。
（３）受注者は工事施工中において、問題が発生した場合や計画工程と実施行程を比較照査し、差異が生じた場合は速やかに監督員へ報告すること。
（４）受注者は、施工計画書に基づいて適正な計画工程を作成し、工事の先々を予見しながら、施工するものとする。

７．電子納品について

「岐阜県電子納品要領」等に基づき、電子納品を行うこと。なお、電子納品の内容については、監督員と事前に協議し、決定すること。

８．暴力団等による不当介入における通報義務について

(１)受注者は、契約の履行に当たって、暴力団又は暴力団員等から、事実関係及び社会通念等に照らして合理的な理由が認められない不当若しくは違法な要求又は契約の適正な履行を妨げる妨害を受けたときは、警察へ通報するとともに、可児市が行う契約からの暴力団排除に関する措置要綱（平成２２年可児市訓令甲第４７号）に定める様式第９号により可児市に報告しなければならない。なお、通報・報告がない場合は、可児市建設工事請負契約に係る指名停止措置要領に基づき、指名停止等の措置を行うことがある。

(２)受注者は、暴力団又は暴力団員等による不当介入を受けたことにより、履行期間内に工事等を完了することができないときは、発注者に履行期間の延長変更を請求することができる。

９.現場代理人の兼務について

現場代理人は、工事請負契約約款第１０条第２項の規定により、契約工期内の現場常駐が義務付けられているが、契約締結後、現場事務所の設置、資機材の搬入又は仮設工事等が開始されるまでの期間や、工事の全部の施工を一時中止している期間については、監督員との連絡体制を確保した上で、常駐義務を緩和するものとする。

また、以下の条件を全て満たす場合に、他工事の現場代理人又は専任でない主任技術者を兼務することができる。

1. 他工事は、可児市発注の建設工事で、工事現場が市内であること。
2. 他工事においても、本工事と同様に現場代理人の兼務を認めていること。
3. 兼務を行う工事の総数が、本工事を含めて３件までであること。
4. 兼務を行う工事の請負代金額の合計が２，５００万円未満であること。
5. 発注者又は監督員が求めた場合には、工事現場に速やかに向かう等の対応ができること。

なお、工事現場における運営、取締り及び権限の行使に支障がある場合、及び、発注者との連絡体制が確保されていないと監督員が認めた場合は、兼務を取り消すものとする。

現場代理人が兼務となった場合は、本工事の監督員及び他工事の監督員の双方に、現場代理人兼務届を提出しなければならない。

１０.主任技術者又は監理技術者の専任を要しない期間について

請負契約の締結後、現場施工に着手するまでの期間（現場事務所の設置、資機材搬入、仮設工事等が開始されるまでの期間）については主任技術者または監理技術者の工事現場への専任を要しない。なお、現場施工に着手する日については、請負契約締結後、監督職員と打ち合わせにおいて定める。

また、工事完成後、検査が終了し（発注者の都合により検査が遅延した場合は除く。）事務手続き、後片付け等のみが残っている期間については、主任技術者または監理技術者の工事現場への専任を要しない。なお、検査が終了した日は発注者が工事の完成を確認した旨、受注者に通知した日とする。

１１．その他

（１）現場施工に先立ち、現況縦横断図を作成し、既設縦横断の修正を行い現場施工に反映させること。なお、現況縦横断図及び計画縦横断図を測定した結果記録は報告書作成の上、監督員に提出すること。また、計画縦横断図の作成に当たり、計画横断図を優先した計画縦断図とすること。その場合において、左右端部の舗装高さはできるだけ同一高さになるよう計画すること。

（２）着手前において、起工測量を実施し、設計精査、確認を行い舗装面積展開図・計算書・区画線図面等を監督員に提出すること。なお、既存の街渠桝及びマンホールの高さを測量し、図面へ反映させること。

（3）舗装コアの採取については、アスファルト舗装施工後、各層ごとにコア採取を実施し、監督員立ち会いのもと、舗装厚さの確認を下検査にて実施すること。

　なお、検査コアの密度試験は公的機関で測定し、管理コアの測定は公的機関又はプラント試験室で行うものとする。公的機関で密度測定した場合は、完成検査時の品質検査は省略できるのもとする。

（4）舗装版切断工に伴い、切断機械から発生する排水については、排水吸引を有する切断機械等により回収するものとする。回収された排水については、関係機関等と協議の上、適正に処理すること。

「適正に処理」とは「廃棄物処理及び清掃に関する法律」に基づき、産業廃棄物の排水事業者（請負業者）が産業廃棄物の処理を委託する際、適正処理のために必要な廃棄物情報（成分性状等）を処理業者に提供することが必要である。

　なお受注業者は、排水処理に係る産業廃棄物管理票(マニフェスト）について、監督員から請求があった場合は提示しなければならない。

特記仕様書
（条件明示）

工事名　　市道2025号線（広眺ケ丘）補強盛土工事

下記項目、事項のうちレ印該当欄は、工事施工にあたって制約等をうけることになるので明示する。
なお、明示事項に変更が生じた場合及び明示されていない制約等が発生したときは、市と協議し適切な処置を講ずるものとする。

施工条件

明示項目		明示事項		制約条件等
工程	☐	1．関連する別途発注工事あり	☐	A．工種（　）
			☐	B．期間（　～　）
	☐	2．他機関協議による工程条件あり	☐	A．工種（　）
			☐	B．期間（　～　）
	☑	3．他機関との協議状況	☐	A．協議済機関及び内容　）
			☑	B．未協議機関及び内容　中電　）
	☐	4．占用許可状況（　）	☐	A．許可済
			☐	B．申請中
	☐	5．建築確認	☐	A．許可済
			☐	B．申請中
	☐	6．河川区域、保全区域内作業あり	☐	A．許可済
			☐	B．申請中
	☐	7．文化財協議（教育文化財課）	☐	A．協議済内容（　）
			☐	B．未協議内容（　）
	☐	8．その他	☐	A．その他（　）
用地	☐	1．用地補償物件撤去まで着工制限あり	☐	A．区間（NO　～NO.　）
			☐	B．着工見込時期（　）
			☐	C．内容（　）
	☐	2．工事用地の未買収	☐	A．場所（　）
			☐	B．処理の見込み時期　）
			☐	C．未買収地への立ち入り可否　）
	☐	3．仮設ヤードの有無	☐	A．官有地
			☐	B．民有地
			☐	C．その他（　）
			☐	D．別途協議
	☐	4．その他	☐	A．その他（　）
公害対策	☐	1．施工方法の制限あり	☐	A．騒音（　）
			☐	B．振動（　）
			☐	C．水質（　）
			☐	D．その他（　）
	☐	2．事業損失防止に関する調査あり	☐	A．調査の項目（　）
	☐	3．環境影響調査あり	☐	A．生物・植物調査あり
	☐	4．その他	☐	A．アスベスト含有材あり
			☐	B．フロン回収あり
			☐	C．その他（　）
安全対策	☑	1．交通規制あり	☑	A．全面通行止め
			☐	B．片側通行止め
			☐	C．時間制限あり（　）
	☐	2．通学路あり	☐	A．迂回路あり
			☐	B．仮設歩道必要
	☐	2．交通整理員	☐	A．区間（NO　～　）配置人員　人/日
			☐	B．区間（　）配置人員　人/日
			☐	C．区間（NO　～　）配置人員　人/日
			☐	D．交替要員あり
	☐	3．鉄道等の近接作業制限あり	☐	A．工法制限あり（　）
			☐	B．作業時間制限あり　）
	☐	4．バス路線（運行者との協議）	☐	A．協議済内容（　）
			☐	B．未協議内容（　）
	☐	5．その他	☐	A．その他（　）
工事用道路	☐	1．一般道路（搬入路）の使用制限	☐	A．搬入経路指定あり
			☐	B．時間帯制限あり
	☐	2．仮設道路の設置条件あり	☐	A．一般交通供用あり
			☐	B．安全施設必要（　）
			☐	C．路面工（　）
			☐	D．工事完了後存続又は撤去（　）
			☐	E．構造（　）
			☐	F．用地（借地）
			☐	G．用地（公用地）
			☐	H．用地（その他）
	☐	3．その他	☐	A．その他（　）
指定仮設備	☐	1．仮設物の指定又は一部指定あり	☐	A．工種（　）
	☐	2．仮設構造物の転用、兼用あり	☐	A．工種（　）
			☐	B．内容（　）
	☐	3．その他	☐	A．その他（　）

明示項目		明示事項		制約条件等
建設発生土 建設（産業）廃棄物関係	☑	1．発生土砂等の有効利用、適正処理あり ［場所が未確定］	☑	A．運搬距離（　8.0　Km
			☐	B．投棄料計上あり
			☐	C．整地（押土、敷均、締固等）必要
			☑	D．整地（押土）必要
	☐	2．発生土砂等の有効利用、適正処理あり ［自工事へ流用］	☐	A．盛土、埋戻
			☐	B．ストックヤード利用あり（　）
			☐	C．仮置場必要（　）
			☐	D．運搬距離（　Km）
			☐	E．仮置場の用地借上費計上あり
	☐	3．発生土砂等の有効利用、適正処理あり ［他工事へ流用、または処分地指定］	☐	A．場所（
			☐	B．盛土、埋戻
			☐	C．整地（押土、敷き均し、転圧）あり
			☐	D．ストックヤード利用あり（　）
			☐	E．仮置場必要（　）
			☐	F．運搬距離（　Km）
			☐	G．仮置場の用地借上費計上あり
			☐	H．処分料計上あり
	☐	4．発生土砂等の有効利用、適正処理あり ［他工事からの流用］	☐	A．他工事名（
			☐	B．請負者運搬あり（運搬距離
			☐	C．盛土、埋め戻し
			☐	D．ストックヤード利用あり（　）
			☐	E．仮置場必要（　）
			☐	F．仮置場の用地借上費計上あり
	☐	5．産業廃棄物の処理条件あり ［特別管理産業廃棄物］	☐	A．種類（　）
			☐	B．場所（　）
			☐	C．中間処理施設までの運搬距離（　Km）
			☐	D．処理費計上あり
	☐	6．浄化槽、汲み取り便槽の取壊し処分あり	☐	A．槽内洗浄必要
			☐	B．可児市環境課と打合せの必要あり
	☑	7．「可児市が発注する公共工事から発生する産業廃棄物適正処理について」に基づく提出・提示書類あり	☑	A．産業廃棄物管理票（マニフェスト）
			☑	B．建設発生土処理地の関係図書
			☑	C．クレダス
			☐	
工事支障物件	☐	1．占用支障物件あり（電気）	☐	A．移設時期（H　年　月頃）
			☐	B．移設時期（別途協議）
	☐	2．占用支障物件あり（電話）	☐	A．移設時期（H　年　月頃）
			☐	B．移設時期（別途協議）
	☐	3．占用支障物件あり（水道）	☐	A．移設時期（H　年　月頃）
			☐	B．移設時期（別途協議）
	☐	4．占用支承物件あり（下水道）	☐	A．移設時期（H　年　月頃）
			☐	B．移設時期（別途協議）
	☐	5．占用支障物件あり（ガス）	☐	A．移設時期（H　年　月頃）
			☐	B．移設時期（別途協議）
	☑	6．占用支障物件あり（ﾏﾝﾎｰﾙ蓋、仕切り弁蓋等）	☑	A．管理者による高さ調整　（上水　）
			☐	B．請負者による高さ調整　（　）
	☐	7．占用支障物件あり（その他）	☐	A．移設時期　（　）
			☐	B．移設時期　（別途協議）
	☐	8．その他	☐	A．その他（　）
排水工関係	☐	1．濁水、湧水処理条件あり	☐	A．方法（　）
	☐	2．その他	☐	A．その他（　）
再生材使用及び溶融スラグ	☑	1．再生材使用指定あり	☑	A．RC
			☑	B．アスファルト再生合材（30%再生）
			☐	C．アスファルト再生合材（100%再生）
			☑	D．溶融スラグ使用あり　表層、側溝　）
			☑	E．再生材を使用できない場合別途協議
	☐	2．その他	☐	A．その他（　）
その他	☐	1．現場発生材あり	☐	A．品名（　）
			☐	B．納入場所　）
	☐	2．支給材あり	☐	A．品名（　）
			☐	B．引渡し場所（　）
	☐	3．イメージアップあり	☐	A．仮設費（　）
			☐	B．安全費（　）
			☐	C．営繕費（　）
			☐	D．特別なイメージアップ（　）
	☐	4．「可児市工事品質証明実施要領」該当あり	☐	A．品質証明員の配置あり
	☐	5．その他	☐	A．その他（　）

市道2025号線（広眺ヶ丘）補強盛土工事

本工事費内訳書

費目・工種・種別・細別・規格	単位	数　量	単　　価	金　　額	摘　　　要	備　　　考
本工事費	式	1			費目行	
道路土工	式	1			1号明細書	
植生工	式	1			2号明細書	
補強盛土工	式	1			3号明細書	
側溝工	式	1			4号明細書	
路側防護柵工	式	1			5号明細書	
道路付属施設工	式	1			6号明細書	
舗装工	式	1			7号明細書	
構造物撤去工	式	1			8号明細書	
直接工事費						
共通仮設費(率分)	式	1			1号内訳書	
共通仮設費計						
純工事費						
現場管理費	式	1			2号内訳書	

市道2025号線（広眺ヶ丘）補強盛土工事

本工事費内訳書

費目・工種・種別・細別・規格	単位	数量	単価	金額	摘要	備考
工事原価						
一般管理費等	式	1			3号内訳書	
工事価格						
消費税相当額	%					
設計価格						

共通仮設費（率分）

内訳書

1号内訳書

名 称 ・ 規 格	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要	備 考
率 分 表 示	式	1				
計						

現場管理費

内訳書

2号内訳書

名　称　・　規　格	単位	数　量	単　　価	金　　額	摘　　　要	備　　　考
率　分　表　示	式	1				
計						

一般管理費等

内訳書

3号内訳書

名 称 ・ 規 格	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要	備 考
率 分 表 示	式	1				
計						

道路土工

明細書

1号明細書

名　称　・　規　格	単位	数　量	単　　価	金　　額	摘　　　要	備　　　考
【施P】掘削 土砂 小規模 小規模(標準)	m3	70			1号代価表	
土木建設工事単価 盛土材	m3	710				
【施P】床掘り 土砂 標準 無し 障害無し	m3	270			2号代価表	
不整地運搬車 5000m3未満 ﾊﾞｯｸﾎｳ山積0.45m3(平積0.35m3) 50m以下	m3	270			3号代価表	
【施P】埋戻し 小規模 土砂	m3	10			4号代価表	
【施P】路体(築堤)盛土 2.5m以上4.0m未満	m3	280			5号代価表	
【施P】路床盛土 2.5m以上4.0m未満	m3	60			6号代価表	
土木建設工事単価 盛土材	m3	60				
【施P】法面整形 盛土部 法面締固め有 現場制約無 ﾚｷ質土､砂及び砂質土､粘性土	m2	240			7号代価表	
残土処分工	m3	6			8号代価表	
計						

植生工

明細書

2号明細書

名　称　・　規　格	単位	数　量	単　価	金　額	摘　要	備　考
人力施工による植生工 植生ｼｰﾄ工(標準品) 500m2未満 制約無	m2	250			9号代価表	
計						

補強盛土工

明細書

3号明細書

名　称　・　規　格	単位	数　量	単　　価	金　　額	摘　　　要	備　　　考
資材搬入	式	1			10号代価表	
ジオテキスタイル補強盛土部材費	式	1			11号代価表	
【施P】ｼﾞｵﾃｷｽﾀｲﾙ壁面材組立･設置	m2	201			12号代価表	
【施P】ｼﾞｵﾃｷｽﾀｲﾙ敷設	m2	446			13号代価表	
【施P】まき出し･敷均し､締固め	m3	783			14号代価表	
【施P】天端排水材設置工 全面	m2	114			15号代価表	
縦排水工	m	58			16号代価表	
計						

側溝工

明細書

4号明細書

名　称　・　規　格	単位	数　量	単　　価	金　　額	摘　　　要	備　　　考
RU300A（リボーン側溝）布設工	m	45			17号代価表	
計						

路側防護柵工

明細書

5号明細書

名　称　・　規　格	単位	数　量	単　　価	金　　額	摘　　　要	備　　　考
防護柵設置工(ｶﾞｰﾄﾞﾚｰﾙ設置工) 土中建込 土中建込･塗装品･Gr-B-4E 21m以上50m未満 夜間無 制約無 曲線無 加	m	31			18号代価表	
計						

道路付属施設工

明細書

6号明細書

名 称 ・ 規 格	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要	備 考
保護コンクリート工	m	26			19号代価表	
計						

舗装工

明細書

7号明細書

名　称　・　規　格	単位	数　量	単　価	金　額	摘　要	備　考
【施P】表層(車道･路肩部)　ささゆりスラグ入り 1.4m以上 40mm 再生密粒度ｱｽｺﾝ(13) ﾌﾟﾗｲﾑｺｰﾄPK-3	m2	124			20号代価表	
【施P】上層路盤(車道･路肩部) 砕石(各種) 25mm以上75mm以下	m2	124			21号代価表	
計						

構造物撤去工

明細書

8号明細書

名称・規格	単位	数量	単価	金額	摘要	備考
防護柵撤去工(ｶﾞｰﾄﾞﾚｰﾙ撤去工) 土中建込･標準型 土中建込･塗装品ﾒｯｷ品(旧Gr-Bp-2E) 夜間無 制約無	m	31			22号代価表	
構造物とりこわし 無筋構造物 機械施工 10m3以上 制約無 夜間無 対策不要	m3	19			23号代価表	
【施P】舗装版破砕 ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装版 障害無し 対策不要 10cm以下 積込有り	m2	117			24号代価表	
【施P】舗装版切断 ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装版 As:15cm以下	m	24			25号代価表	
【施P】殻運搬 ｺﾝｸﾘｰﾄ(無筋･鉄筋)構造物とりこわし 機械積込 DID有り 14.0km以下	m3	19			26号代価表	
ｺﾝｸﾘｰﾄ処理場 無筋	t	43 500				
【施P】殻運搬 舗装版破砕 機械積込(騒音対策不要,舗装版厚15cm以下) DID有り 6.0km以下	m3	5			27号代価表	
ｱｽﾌｧﾙﾄ処理場 塊	t	11				
計						

代価表

【施P】掘削
土砂 小規模 小規模(標準)

1号代価表

1 m3当り

	名 称 ・ 規 格	構成比	積算地区単価	基準地区単価	摘 要	備 考
K						
K1	ﾊﾞｯｸﾎｳ[排出ｶﾞｽ対策型(第2次基準値)] ｸﾛｰﾗ型・山積0.28m3(平積0.2 m3)					
R						
R1	運転手(特殊)					
Z						
Z1	軽油 小型ﾛｰﾘｰ ﾊﾟﾄﾛｰﾙ給油					
日当り作業量補正(道路維持等作業効率低下) : 無 土質 : 土砂						
施工方法 : 上記以外(小規模) 施工数量 : 小規模(標準)						
機種区分 : 標準 (ﾊﾞｯｸﾎｳ)排ｶﾞｽ機械の選択 : 排ｶﾞｽ対策型(第2次基準値)						
軽油 : 軽油 ; 小型ﾛｰﾘｰ ﾊﾟﾄﾛｰﾙ給油						

代価表

【施P】床掘り
土砂 標準 無し 障害無し

2号代価表

1 m3当り

	名 称 ・ 規 格	構成比	積算地区単価	基準地区単価	摘 要	備 考
K						
K1	ﾊﾞｯｸﾎｳ[排出ｶﾞｽ対策型(第2次基準値)] ｸﾛｰﾗ型・山積0.8 m3(平積0.6 m3)					
R						
R1	運転手(特殊)					
Z						
Z1	軽油 小型ﾛｰﾘｰ ﾊﾟﾄﾛｰﾙ給油					
土質 ： 土砂 施工方法 ： 標準						
土留方式の種類 ： 無し 障害の有無 ： 障害無し						
(ﾊﾞｯｸﾎｳ)排ｶﾞｽ機械の選択 ： 排ｶﾞｽ対策型(第2次基準値) 軽油 ： 軽油 ; 小型ﾛｰﾘｰ ﾊﾟﾄﾛｰﾙ給油						

不整地運搬車
5000m3未満 ﾊﾞｯｸﾎｳ山積0.45m3(平積0.35m3) 50m以下

代価表

3号代価表

100 m3当り

名　称　・　規　格	単位	数　量	単　　価	金　　額	摘　　要	備　　考
不整地運搬車(賃料) ｸﾛｰﾗ型ﾀﾞﾝﾌﾟ 全旋回式6~7t積級	日				1号単価表	
諸　雑　費	式	1				
計						
1 m3 当り						
施工数量 : 5000m3未満 積込機種・規格 : ﾊﾞｯｸﾎｳ山積0.45m3(平積0.35m3)						
運搬距離 : 50以下 不整地運搬車 : 不整地運搬車(賃料); ｸﾛｰﾗ型ﾀﾞﾝﾌﾟ 全旋回式6~7t積級						

代価表

【施P】埋戻し
小規模 土砂

4号代価表

1 m3当り

	名 称 ・ 規 格	構成比	積算地区単価	基準地区単価	摘 要	備 考
K						
K1	ﾊﾞｯｸﾎｳ[排出ｶﾞｽ対策型(第2次基準値)] ｸﾛｰﾗ型・山積0.28m3(平0.2 m3)後方超小旋回					
K2	ﾀﾝﾊﾟ及びﾗﾝﾏ 質量60~80kg					
R						
R1	普通作業員					
R2	特殊作業員					
R3	運転手(特殊)					
Z						
Z1	軽油 小型ﾛｰﾘｰ ﾊﾟﾄﾛｰﾙ給油					
Z2	ﾚｷﾞｭﾗｰｶﾞｿﾘﾝ ｽﾀﾝﾄﾞ					

施工方法 ： 上記以外(小規模)
(後方超小旋回型ﾊﾞｯｸﾎｳ)排ｶﾞｽ機械の選択 ： 排ｶﾞｽ対策型(第2次基準値)
軽油 ： 軽油 ； 小型ﾛｰﾘｰ ﾊﾟﾄﾛｰﾙ給油
ｶﾞｿﾘﾝ ： ﾚｷﾞｭﾗｰｶﾞｿﾘﾝ ； ｽﾀﾝﾄﾞ

【施P】路体(築堤)盛土
2.5m以上4.0m未満

代価表

5号代価表

1 m3当り

	名　称　・　規　格	構成比	積算地区単価	基準地区単価	摘　　要	備　　　考
K						
K1	ﾌﾞﾙﾄﾞｰｻﾞ[排出ｶﾞｽ対策型(第1次基準値)] 普通 3t級(3~4t)					
K2	振動ﾛｰﾗ(賃貸) 搭乗式 ｺﾝﾊﾞｲﾝﾄﾞ型 3~4t					
R						
R1	運転手(特殊)					
R2	普通作業員					
Z						
Z1	軽油 小型ﾛｰﾘｰ ﾊﾟﾄﾛｰﾙ給油					
施工幅員 ： 2.5m以上4.0m未満 (ﾌﾞﾙﾄﾞｰｻﾞ)排ｶﾞｽ機械の選択 ： 排ｶﾞｽ対策型(第1次基準値)						
(振動ﾛｰﾗ)賃料長期割引の適用 ： 長期割引あり 軽油 ： 軽油 ; 小型ﾛｰﾘｰ ﾊﾟﾄﾛｰﾙ給油						

【施P】路床盛土
2.5m以上4.0m未満

代価表

6号代価表

1 m3当り

	名　称　・　規　格	構成比	積算地区単価	基準地区単価	摘　　要	備　　　考
K						
K1	振動ﾛｰﾗ(賃貸) 搭乗式 ｺﾝﾊﾞｲﾝﾄﾞ型 3~4t					
K2	ﾌﾞﾙﾄﾞｰｻﾞ[排出ｶﾞｽ対策型(第1次基準値)] 普通 3t級(3~4t)					
R						
R1	運転手(特殊)					
R2	普通作業員					
Z						
Z1	軽油 小型ﾛｰﾘｰ ﾊﾟﾄﾛｰﾙ給油					
平均幅員 : 2.5m以上4.0m未満 (ﾌﾞﾙﾄﾞｰｻﾞ)排ｶﾞｽ機械の選択 : 排ｶﾞｽ対策型(第1次基準値)						
(振動ﾛｰﾗ)賃料長期割引の適用 : 長期割引あり 軽油 : 軽油 ; 小型ﾛｰﾘｰ ﾊﾟﾄﾛｰﾙ給油						

【施P】法面整形
盛土部 法面締固め有 現場制約無 ﾚｷ質土､砂及び砂質土､粘性土

代価表

7号代価表

1 m2当り

	名 称 ・ 規 格	構成比	積算地区単価	基準地区単価	摘 要	備 考
K						
K1	ﾊﾞｯｸﾎｳ[排出ｶﾞｽ対策型(第2次基準値)] ｸﾛｰﾗ型･山積0.8 m3(平積0.6 m3)					
R						
R1	普通作業員					
R2	運転手(特殊)					
R3	土木一般世話役					
Z						
Z1	軽油 小型ﾛｰﾘｰ ﾊﾟﾄﾛｰﾙ給油					

整形箇所 ： 盛土部
法面締固めの有無 ： 有り
現場制約の有無 ： 無し
機種区分 ： 標準
(ﾊﾞｯｸﾎｳ)排ｶﾞｽ機械の選択 ： 排ｶﾞｽ対策型(第2次基準値)
軽油 ： 軽油 ； 小型ﾛｰﾘｰ ﾊﾟﾄﾛｰﾙ給油

残土処分工

代価表

8号代価表

1 m3当り

名　称　・　規　格	単位	数　量	単　価	金　額	摘　要	備　考
【施P】整地 残土受入れ地での処理	m3	1			28号代価表	
土砂等運搬 小規模 ﾊﾞｯｸﾎｳ山積0.28m3(平積0.2m3) 土砂(岩塊･玉石混り土含む) DID有り 7.	m3	1			29号代価表	
計						
1 m3 当り						

代価表

人力施工による植生工
植生ｼｰﾄ工(標準品) 500m2未満 制約無

9号代価表

1 m2当り

名 称 ・ 規 格	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要	備 考
法面工 人力施工による植生工[材工共] 植生ｼｰﾄ工 肥料袋無し 標準品	m2	1				
計						
1 m2 当り						

代価表の当り数量 ： 1当り代価表
工種区分 ： 植生ｼｰﾄ工(標準品)
施工規模 ： 500m2未満
市場単価の補正方法 ： 単価欄に対して補正計算を行う
市場単価の日当り施工量補正有無 ： 有(積算基準記載の標準値に対して市場単価の加算率・補正係数を乗ずる)

資材搬入

代価表

10号代価表

1 式当り

名 称 ・ 規 格	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要	備 考
不整地運搬車(賃料) ｸﾛｰﾗ型ﾀﾞﾝﾌﾟ 全旋回式6~7t積級	日				1号単価表	
諸 雑 費	式	1				
計						
1 式 当り						

ジオテキスタイル補強盛土部材費

代価表

11号代価表

1 式当り

名　称　・　規　格	単位	数　量	単　　価	金　　額	摘　　要	備　　考
ｱﾃﾞﾑ HG-36 W120cm	m2	335.500				
ｱﾃﾞﾑ HG-60 W120cm	m2	110.400				
鋼製壁面材 幅1.2m×高0.6m	セット	279				
層厚管理材 SP-70E*BS1　1*50	m2	306.900				
補強拘束ネット付植生シート SG-SP17MTG*GR25	m	334.800				
小段補強用植生シート AD-GR25	m	304.800				
小段補強用ジオネット SN-H-0605-500	m	304.800				
壁面強化材 UC-20	m2	349.200				
連結金具 AD-JGL*AZ-SET	組	26				
固定ピン AD-D10*200	本	1,624				
ｴﾝﾄﾞﾚﾝﾌｨﾙﾀｰ EF-3 W30cm	m	407.700				
固定ピン（天端排水材用） AD-D10*200	本	29				
基盤排水材 C-40	m3	78				
吸い出し防止材 ジオフリースS S-100 同等品	m2	130				

ジオテキスタイル補強盛土部材費

代価表

11号代価表

1 式当り

名 称 ・ 規 格	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要	備 考
諸 雑 費	式	1				
計						
1 式 当り						

【施P】ｼﾞｵﾃｷｽﾀｲﾙ壁面材組立･設置

代価表

12号代価表

1 m2当り

	名　称　・　規　格	構成比	積算地区単価	基準地区単価	摘　　要	備　　　考
R						
R1	普通作業員					
R2	土木一般世話役					
R3	特殊作業員					

【施P】ｼﾞｵﾃｷｽﾀｲﾙ敷設

代価表

13号代価表

1 m2当り

	名　称　・　規　格	構成比	積算地区単価	基準地区単価	摘　　要	備　　　考
R						
R1	普通作業員					
R2	土木一般世話役					
R3	特殊作業員					

【施P】まき出し･敷均し､締固め

代価表

14号代価表

1 m3当り

	名　称　・　規　格	構成比	積算地区単価	基準地区単価	摘　　要	備　　　考
K						
K1	ﾊﾞｯｸﾎｳ(賃貸)ｸﾛｰﾗ 山積み0.5m3					
R						
R1	普通作業員					
R2	特殊作業員					
R3	土木一般世話役					
R4	運転手(特殊)					
Z						
Z1	軽油 小型ﾛｰﾘｰ ﾊﾟﾄﾛｰﾙ給油					
軽油 ：	軽油 ； 小型ﾛｰﾘｰ ﾊﾟﾄﾛｰﾙ給油					
(ﾊﾞｯｸﾎｳ山積0.50m3)賃料長期割引の適用 ： ﾊﾞｯｸﾎｳ(賃貸)ｸﾛｰﾗ ； 山積み0.5m3						

【施P】天端排水材設置工
全面

代価表

15号代価表

1 m2当り

	名 称 ・ 規 格	構成比	積算地区単価	基準地区単価	摘 要	備 考
R						
R1	普通作業員					
Z						
Z1	天端排水材 ジオフリースS S-300 同等品					

設置条件 ： 全面
吸出し防止材 ： 軟弱地盤安定ｼｰﾄ； 長繊維PE系不織布(ｽﾊﾟﾝﾎﾞﾝﾄﾞ) 厚3.0mm 635N/5cm

縦排水工

代価表

16号代価表

100 m当り

名　称　・　規　格	単位	数　量	単　　価	金　　額	摘　　　要	備　　　考
土木一般世話役	人					
普通作業員	人					
暗渠排水材及び附属品 ﾓﾉﾄﾞﾚﾝ M-3 径30mm×3本	m	101				
諸雑費	%				諸雑費	継手材料費
計						
1 m 当り						

RU300A(リボーン側溝)布設工

代価表

17号代価表

10 m当り

名　称　・　規　格	単位	数　量	単　　価	金　　額	摘　　　要	備　　　考
U型側溝[市場単価] 据付け 据付け L補正無 道路用鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ側溝3種JISA5372･300A･300*300*2000 L=2,0	m	10			30号代価表	
道路用鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ側溝 車道用　RU側溝 PU3型(3種)300A 300*300*2000㎜　ささゆりｽﾗｸﾞ入り	本	5				
蓋版[市場単価] 据付け 据付け 道路用鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ側溝3種JISA5372･300･41.2*9.5*50 ｺﾝｸﾘｰﾄ鋼製40を起	枚	20			31号代価表	
道路用鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ側溝蓋　車道用 RU側溝蓋 PU型(3種)300 412*95*500㎜　ささゆりｽﾗｸﾞ入り	枚	19				
道路用鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ側溝用ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ ﾀﾞｸﾀｲﾙ鋳鉄製 車道用 T-25 300 412×95×500	枚	1				
【施P】ｺﾝｸﾘｰﾄ 無筋･鉄筋構造物 打設量10m3/日未満かつ打設地上高さ2m以下 18-8-40(高炉) 一	m3	0.520			32号代価表	
【施P】型枠 一般型枠 均しｺﾝｸﾘｰﾄ	m2	2			33号代価表	
諸　雑　費	式	1				
計						
1 m 当り						

防護柵設置工(ｶﾞｰﾄﾞﾚｰﾙ設置工)
土中建込 土中建込・塗装品・Gr-B-4E 21m以上50m未満 夜間無 制約無 曲線無 加算無し

代価表

18号代価表

1ｍ当り

名 称 ・ 規 格	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要	備 考
ｶﾞｰﾄﾞﾚｰﾙ設置工[材工共] 標準型 土中建込 塗装品(白色) Gr-B-4E	m	1				
計						
1 m 当り						
代価表の当り数量 : 1当り代価表 積算区分 : ｶﾞｰﾄﾞﾚｰﾙ設置工						
施工区分 : 土中建込 規格・仕様 : 土中建込・塗装品・Gr-B-4E						
資材計上区分 : 材料費+施工費 ｶﾞｰﾄﾞﾚｰﾙ材料の規格区分 : 標準(白色)						
施工規模 : 21m以上50m未満 夜間作業の補正 : 無						
曲線部補正 : 無 加算額 : 加算無し						
市場単価の補正方法 : 単価欄に対して補正計算を行う 市場単価の日当り施工量補正有無 : 有(積算基準記載の標準値に対して市場単価の加算率・補正係数を乗ずる)						

保護コンクリート工

代価表

19号代価表

10 m当り

名　称　・　規　格	単位	数　量	単　　価	金　　額	摘　　　要	備　　　考
【施P】コンクリート 無筋・鉄筋構造物 打設量10m3/日未満かつ打設地上高さ2m以下 18-8-25(20)(高炉	m3	1.500			34号代価表	
鉄筋工[市場単価] SR235・φ13 一般構造物 10t未満 制約無 夜間無 ﾄﾝﾈﾙ無 法面無 太径10%未満(補	kg	11.500			35号代価表	
【施P】目地板 瀝青質目地板(t=10)	m2	0.700			36号代価表	
防草シート	m2	1.400				
諸　雑　費	式	1				
計						
1 m 当り						

【施P】表層(車道･路肩部)　ささゆりスラグ入り
1.4m以上 40mm 再生密粒度ｱｽｺﾝ(13) ﾌﾟﾗｲﾑｺｰﾄPK-3

代価表

20号代価表

1 m2当り

	名　称　・　規　格	構成比	積算地区単価	基準地区単価	摘　　要	備　　　考
K						
K1	ｱｽﾌｧﾙﾄﾌｨﾆｯｼｬ[排出ｶﾞｽ対策型(第2次基準値)] ﾎｲｰﾙ型･舗装幅2.4~ 6.0m					
K2	ﾀｲﾔﾛｰﾗ[排出ｶﾞｽ対策型(第1次基準値)] 普通型･質量8~20t					
K3	ﾛｰﾄﾞﾛｰﾗ[排出ｶﾞｽ対策型(第1次基準値)] ﾏｶﾀﾞﾑ･質量10~12t･締固め幅2.1m					
R						
R1	普通作業員					
R2	特殊作業員					
R3	運転手(特殊)					
R4	土木一般世話役					
Z						
Z1	ｱｽﾌｧﾙﾄ混合物 再生密粒度ｱｽｺﾝ(13)				37号代価表	
Z2	ｱｽﾌｧﾙﾄ乳剤 PK3 ﾌﾟﾗｲﾑｺｰﾄ用					
Z3	軽油 小型ﾛｰﾘｰ ﾊﾟﾄﾛｰﾙ給油					

代価表

【施P】表層(車道･路肩部)　ささゆりスラグ入り
1.4m以上 40mm 再生密粒度ｱｽｺﾝ(13) ﾌﾟﾗｲﾑｺｰﾄPK-3

20号代価表

1 m2当り

名　称　・　規　格		構成比	積算地区単価	基準地区単価	摘　　要	備　　考
日当り作業量補正(道路維持等作業効率低下) ： 無 平均幅員 ： 1.4m以上						
1層当り平均仕上り厚(標準50mm) ： TH37a=40mm 材料 ： 再生密粒度ｱｽｺﾝ(13)						
瀝青材料種類 ： ﾌﾟﾗｲﾑｺｰﾄ PK-3 (ｱｽﾌｧﾙﾄﾌｨﾆｯｼｬ)排ｶﾞｽ機械の選択 ： 排ｶﾞｽ対策型(第2次基準値)						
(ﾀｲﾔﾛｰﾗ)排ｶﾞｽ機械の選択 ： 排ｶﾞｽ対策型(第1次基準値) (ﾛｰﾄﾞﾛｰﾗ)排ｶﾞｽ機械(工種指定)選択 ： 排ｶﾞｽ対策型(第1次基準値)(※標準)ﾏｶﾀﾞﾑ･10~12t						
ｱｽﾌｧﾙﾄ混合物 ： ｱｽﾌｧﾙﾄ混合物； 再生密粒度ｱｽｺﾝ(13) ｱｽﾌｧﾙﾄ乳剤 PK-3 ﾌﾟﾗｲﾑｺｰﾄ用 ： ｱｽﾌｧﾙﾄ乳剤； PK3 ﾌﾟﾗｲﾑｺｰﾄ用						
ｱｽﾌｧﾙﾄ乳剤の単位選択 ：｢L｣単位の材料単価 軽油 ： 軽油； 小型ﾛｰﾘｰ ﾊﾟﾄﾛｰﾙ給油						

代価表

【施P】上層路盤(車道･路肩部)
砕石(各種) 25mm以上75mm以下

21号代価表

1 m2当り

	名 称 ・ 規 格	構成比	積算地区単価	基準地区単価	摘 要	備 考
K						
K1	ﾓｰﾀｸﾞﾚｰﾀﾞ[排出ｶﾞｽ対策型(第1次基準値)] 土工用･ﾌﾞﾚｰﾄﾞ幅3.1m					
K2	ﾛｰﾄﾞﾛｰﾗ[排出ｶﾞｽ対策型(第1次基準値)] ﾏｶﾀﾞﾑ･質量10~12t･締固め幅2.1m					
K3	ﾀｲﾔﾛｰﾗ[排出ｶﾞｽ対策型(第1次基準値)] 普通型･質量8~20t					
R						
R1	運転手(特殊)					
R2	普通作業員					
Z						
Z1	再生砕石 RC-30					
Z2	軽油 小型ﾛｰﾘｰ ﾊﾟﾄﾛｰﾙ給油					
日当り作業量補正(道路維持等作業効率低下) : 無 材料 : 砕石(各種)						
平均厚さ : 25mm以上75mm以下 砕石各種 : 再生砕石 ; RC-30						

代価表

【施P】 上層路盤(車道･路肩部)
砕石(各種) 25mm以上75mm以下

21号代価表

1 m2当り

名　称　・　規　格		構成比	積算地区単価	基準地区単価	摘　　要	備　　考
(ﾓｰﾀｸﾞﾚｰﾀﾞ)排ｶﾞｽ機械の選択 ： 排ｶﾞｽ対策型(第1次基準値) (ﾛｰﾄﾞﾛｰﾗ)排ｶﾞｽ機械(工種指定)選択 ： 排ｶﾞｽ対策型(第1次基準値)(※標準)ﾏｶﾀﾞﾑ･10~12t						
(ﾀｲﾔﾛｰﾗ)排ｶﾞｽ機械の選択 ： 排ｶﾞｽ対策型(第1次基準値) 軽油 ： 軽油 ; 小型ﾛｰﾘｰ ﾊﾟﾄﾛｰﾙ給油						

防護柵撤去工(ｶﾞｰﾄﾞﾚｰﾙ撤去工)
土中建込･標準型 土中建込･塗装品ﾒｯｷ品(旧Gr-Bp-2E) 夜間無 制約無

代価表

22号代価表

1 m当り

名 称 ・ 規 格	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要	備 考
ｶﾞｰﾄﾞﾚｰﾙ撤去工[手間のみ] 標準型 土中建込 (Ap･Bp･Cp)(2E)	m	1				
計						
1 m 当り						
代価表の当り数量 ： 1当り代価表 施工区分 ： 土中建込･標準型						
規格･仕様 ： 土中建込 塗装品ﾒｯｷ品(旧Gr-Bp-2E) 夜間作業の補正 ： 無						
時間的制約を受ける場合の補正 ： 無 市場単価の補正方法 ： 単価欄に対して補正計算を行う						
市場単価の日当り施工量補正有無 ： 有(積算基準記載の標準値に対して市場単価の加算率･補正係数を乗ずる)						

代価表

構造物とりこわし
無筋構造物 機械施工 10m3以上 制約無 夜間無 対策不要

23号代価表

1 m3当り

名 称 ・ 規 格	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要	備 考
構造物とりこわし工[手間のみ] 無筋構造物 機械施工 積込含む	m3	1				
計						
1 m3 当り						
代価表の当り数量 ： 1当り代価表 構造物区分 ： 無筋構造物						
工法区分 ： 機械施工 施工規模による加算 ： 機械施工・10m3以上						
時間的制約を受ける場合の補正 ： 無 夜間作業の補正 ： 無						
低騒音・低振動対策 ： 不要 市場単価の補正方法 ： 単価欄に対して補正計算を行う						
市場単価の日当り施工量補正有無 ： 有(積算基準記載の標準値に対して市場単価の加算率・補正係数を乗ずる)						

【施P】舗装版破砕
ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装版 障害無し 対策不要 10cm以下 積込有り

代価表

24号代価表

1 m2当り

	名 称 ・ 規 格	構成比	積算地区単価	基準地区単価	摘 要	備 考
K						
K1	ﾊﾞｯｸﾎｳ(賃貸)ｸﾛｰﾗ(法面ﾊﾞｹｯﾄ付) 山積み0.45m3					
R						
R1	普通作業員					
R2	土木一般世話役					
R3	運転手(特殊)					
Z						
Z1	軽油 小型ﾛｰﾘｰ ﾊﾟﾄﾛｰﾙ給油					
日当り作業量補正(道路維持等作業効率低下) ： 無 舗装版種別 ： ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装版						
障害等の有無 ： 無し 騒音振動対策 ： 不要						
舗装版厚 ： 10cm以下 (ﾊﾞｯｸﾎｳ)賃料長期割引の適用 ： 長期割引あり						
軽油 ： 軽油 ； 小型ﾛｰﾘｰ ﾊﾟﾄﾛｰﾙ給油						

【施P】舗装版切断
ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装版 As:15cm以下

代価表

25号代価表

1ｍ当り

	名　称　・　規　格	構成比	積算地区単価	基準地区単価	摘　　要	備　　考
K						
K1	ｺﾝｸﾘｰﾄｶｯﾀ ﾊﾞｷｭｰﾑ式･湿式･切削深20cm級･ﾌﾞﾚｰﾄﾞ径56cm					
R						
R1	特殊作業員					
R2	普通作業員					
Z						
Z1	ｺﾝｸﾘｰﾄｶｯﾀﾌﾞﾚｰﾄﾞ 径56cm(55cm)					
Z2	ﾚｷﾞｭﾗｰｶﾞｿﾘﾝ ｽﾀﾝﾄﾞ					
日当り作業量補正(道路維持等作業効率低下) ： 無 舗装版種別 ： ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装版						
ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装版厚 ： 15cm以下 ｺﾝｸﾘｰﾄｶｯﾀ(ﾌﾞﾚｰﾄﾞ)径22ｲﾝﾁ ： ｺﾝｸﾘｰﾄｶｯﾀﾌﾞﾚｰﾄﾞ； 径56cm(55cm)						
ｶﾞｿﾘﾝ ﾚｷﾞｭﾗｰ ： ﾚｷﾞｭﾗｰｶﾞｿﾘﾝ； ｽﾀﾝﾄﾞ						

【施P】殻運搬
コンクリート(無筋・鉄筋)構造物とりこわし 機械積込 DID有り 14.0km以下

代価表

26号代価表

1 m3当り

	名 称 ・ 規 格	構成比	積算地区単価	基準地区単価	摘 要	備 考
K						
K1	ﾀﾞﾝﾌﾟﾄﾗｯｸ ｵﾝﾛｰﾄﾞ･ﾃﾞｨｰｾﾞﾙ･積載質量10t積級					
R						
R1	運転手(一般)					
Z						
Z1	軽油 小型ﾛｰﾘｰ ﾊﾟﾄﾛｰﾙ給油					
殻発生作業､積込工法区分 : ｺﾝｸﾘｰﾄ(無筋･鉄筋)構造物とりこわし ; 積込工法区分 DID区間の有無 : 有り						
運搬距離 : 14.0km以下 軽油 : 軽油 ; 小型ﾛｰﾘｰ ﾊﾟﾄﾛｰﾙ給油						

【施P】殻運搬
舗装版破砕 機械積込(騒音対策不要,舗装版厚15cm以下) DID有り 6.0km以下

代価表

27号代価表

1 m3当り

	名 称 ・ 規 格	構成比	積算地区単価	基準地区単価	摘 要	備 考
K						
K1	ﾀﾞﾝﾌﾟﾄﾗｯｸ ｵﾝﾛｰﾄﾞ･ﾃﾞｨｰｾﾞﾙ･積載質量10t積級					
R						
R1	運転手(一般)					
Z						
Z1	軽油 小型ﾛｰﾘｰ ﾊﾟﾄﾛｰﾙ給油					
殻発生作業､積込工法区分 ： 舗装版破砕 ； 積込工法区分 DID区間の有無 ： 有り						
運搬距離 ： 6.0km以下 軽油 ： 軽油 ； 小型ﾛｰﾘｰ ﾊﾟﾄﾛｰﾙ給油						

【施P】整地
残土受入れ地での処理

代価表

28号代価表

1 m3当り

	名 称 ・ 規 格	構成比	積算地区単価	基準地区単価	摘 要	備 考
K						
K1	ﾌﾞﾙﾄﾞｰｻﾞ[排出ｶﾞｽ対策型(第1次基準値)] 普通15t級(13~16t)					
R						
R1	運転手(特殊)					
Z						
Z1	軽油 小型ﾛｰﾘｰ ﾊﾟﾄﾛｰﾙ給油					
作業区分 ： 残土受入れ地での処理 (ﾌﾞﾙﾄﾞｰｻﾞ)排ｶﾞｽ機械の選択 ： 排ｶﾞｽ対策型(第1次基準値)						
軽油 1.2号 ： 軽油； 小型ﾛｰﾘｰ ﾊﾟﾄﾛｰﾙ給油						

土砂等運搬
小規模 ﾊﾞｯｸﾎｳ山積0.28m3(平積0.2m3) 土砂(岩塊･玉石混り土含む) DID有り 7.0km以下

代価表

29号代価表

1 m3当り

	名 称 ・ 規 格	構成比	積算地区単価	基準地区単価	摘 要	備 考
K						
K1	ﾀﾞﾝﾌﾟﾄﾗｯｸ ｵﾝﾛｰﾄﾞ･ﾃﾞｨｰｾﾞﾙ･積載質量4t積級					
R						
R1	運転手(一般)					
Z						
Z1	軽油 小型ﾛｰﾘｰ ﾊﾟﾄﾛｰﾙ給油					
土砂等発生現場 ： 小規模 積込機種･規格 ： ﾊﾞｯｸﾎｳ山積0.28m3(平積0.2m3)						
DID区間の有無 ： 有り 運搬距離 ： 7.0km以下						
軽油 ： 軽油 ; 小型ﾛｰﾘｰ ﾊﾟﾄﾛｰﾙ給油						

U型側溝[市場単価] 据付け
据付け L補正無 道路用鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ側溝3種JIS A5372・300A・300*300*2000 L=2,000mm・1,000kg/個以下 50m未満 制約無 夜間無 場所補正無 砕石無

代価表

30号代価表

10 m当り

名称・規格	単位	数量	単価	金額	摘要	備考
排水構造物工[手間のみ] U型側溝 L2000mm 1000kg/個以下	m	10				
計						
1 m 当り						
日当り作業量補正(道路維持等作業効率低下) ： 無 代価表の当り数量 ： 10当り代価表						
作業区分 ： 据付け L=1,000mmL=4,000mmL=5,000mmの使用の有無 ： 無(L=600又はL=2,000mm)						
側溝材料計上区分 ： 計上しない U型側溝の種類(600・2000mm) ： 道路用鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ側溝3種JISA5372 ・ 300A・ 300*300*2000						
施工規模 ： 50m未満 夜間作業の補正 ： 無						
施工箇所における補正 ： 無 基礎砕石施工の有無 ： 無						
市場単価の補正方法 ： 単価欄に対して補正計算を行う 市場単価の日当り施工量補正有無 ： 有(積算基準記載の標準値に対して市場単価の加算率・補正係数を乗ずる)						

代価表

31号代価表

蓋版[市場単価] 据付け

据付け 道路用鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ側溝3種JISA5372・300・41.2*9.5*50 ｺﾝｸﾘｰﾄ鋼製40を超え170kg/枚以下 制約無 夜間無 小段面無

100 枚当り

名 称 ・ 規 格	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要	備 考
排水構造物工[手間のみ] 蓋版 ｺﾝｸﾘｰﾄ製・鋼製 40を超え170kg/枚以下	枚	100				
計						
1 枚 当り						
代価表の当り数量 ： 100当り代価表 日当り作業量補正(道路維持等作業効率低下) ： 無						
作業区分 ： 据付け 資材計上区分 ： 材料費+施工費						
蓋版の種類 ： 道路用鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ側溝3種 JISA5372・300・ 41.2*9.5*50 蓋版(道路3種 JISA5372 300 41.2*9.5*50) ： 道路用鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ側溝蓋 車道用 ; PC4型(3種)300 412*95*500mm						
蓋版材料の単位選択 ：「枚」、「個」、「組」単位の蓋版材料 時間的制約を受ける場合の補正 ： 無						
夜間作業の補正 ： 無 施工箇所における補正 ： 無						
市場単価の補正方法 ： 単価欄に対して補正計算を行う 市場単価の日当り施工量補正有無 ： 有(積算基準記載の標準値に対して市場単価の加算率・補正係数を乗ずる)						

代価表

【施P】 ｺﾝｸﾘｰﾄ
無筋･鉄筋構造物 打設量10m3/日未満かつ打設地上高さ2m以下 18-8-40(高炉) 一般養生 現場内小運搬無し

32号代価表

1 m3当り

	名 称 ・ 規 格	構成比	積算地区単価	基準地区単価	摘 要	備 考
R						
R1	普通作業員					
R2	特殊作業員					
R3	土木一般世話役					
Z						
Z1	生ｺﾝｸﾘｰﾄ 18-8-40(高炉)				38号代価表	
日当り作業量補正(道路維持等作業効率低下) ： 無 構造物種別 ： 無筋･鉄筋構造物						
施工条件 ： 打設量10m3/日未満かつ打設地上高さ2m以下 ｺﾝｸﾘｰﾄ規格 ： 18-8-40(高炉)						
養生工の種類 ： 一般養生 現場内小運搬の有無 ： 無し						
生ｺﾝｸﾘｰﾄ ： 生ｺﾝｸﾘｰﾄ ; 18-8-40(高炉)						

代価表

【施P】型枠
一般型枠 均しｺﾝｸﾘｰﾄ

33号代価表

1 m2当り

	名 称 ・ 規 格	構成比	積算地区単価	基準地区単価	摘 要	備 考
R						
R1	型わく工					
R2	普通作業員					
R3	土木一般世話役					
日当り作業量補正(道路維持等作業効率低下) ： 無 型枠の種類 ： 一般型枠						
構造物の種類 ： 均しｺﾝｸﾘｰﾄ						

【施P】ｺﾝｸﾘｰﾄ
無筋･鉄筋構造物 打設量10m3/日未満かつ打設地上高さ2m以下 18-8-25(20)(高炉) 一般養生 現場内小運搬無し

代価表

34号代価表

1 m3当り

	名 称 ・ 規 格	構成比	積算地区単価	基準地区単価	摘 要	備 考
R						
R1	普通作業員					
R2	特殊作業員					
R3	土木一般世話役					
Z						
Z1	生ｺﾝｸﾘｰﾄ 18-8-25(20)(高炉)				39号代価表	
日当り作業量補正(道路維持等作業効率低下) ： 無 構造物種別 ： 無筋･鉄筋構造物						
施工条件 ： 打設量10m3/日未満かつ打設地上高さ2m以下 ｺﾝｸﾘｰﾄ規格 ： 18-8-25(高炉)						
養生工の種類 ： 一般養生 現場内小運搬の有無 ： 無し						
生ｺﾝｸﾘｰﾄ ： 生ｺﾝｸﾘｰﾄ； 18-8-25(20)(高炉)						

鉄筋工[市場単価]
SR235・φ13 一般構造物 10t未満 制約無 夜間無 ﾄﾝﾈﾙ無 法面無 太径10%未満(補正無) 差筋及び杭頭処理

代価表

35号代価表

1,000 ｋｇ当り

名 称 ・ 規 格	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要	備 考
鉄筋用小形丸鋼 SR235 径13mm 1.04kg/m	t	1.030				
鉄筋工 加工・組立[手間のみ] 一般構造物	t	1				
諸 雑 費	式	1				
計						
1 ｋｇ 当り						
日当り作業量補正(道路維持等作業効率低下) : 無 代価表単位の選択 : kg当り代価表						
代価表の当り数量 : 1000当り代価表 資材計上区分 : 材料費+施工費						
鉄筋材料規格・径 : SR235・φ13 鉄筋(SR235・φ13) : 鉄筋用小形丸鋼 SR235 ; 径13mm 1.04kg/m						
鉄筋材料費の単位選択 :「t」単位の鉄筋材料単価 規格・仕様区分 : 一般構造物						
施工規模 : 10t未満 夜間作業の補正 : 無						
ﾄﾝﾈﾙ内作業の補正 : 無 法面作業の補正 : 無						
太径鉄筋補正 : 10%未満(補正無) 構造物種別による補正 : 差筋及び杭頭処理						

鉄筋工[市場単価]
SR235・φ13 一般構造物 10t未満 制約無 夜間無 ﾄﾝﾈﾙ無 法面無 太径10%未満(補正無) 差筋及び杭頭処理

代価表

35号代価表

1,000 ｋｇ当り

名 称 ・ 規 格	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要	備 考
市場単価の補正方法 ： 単価欄に対して補正計算を行う 市場単価の日当り施工量補正有無 ： 有(積算基準記載の標準値に対して市場単価の加算率・補正係数を乗ずる)						

代価表

【施P】目地板
瀝青質目地板(t=10)

36号代価表

1 m2当り

	名　称　・　規　格	構成比	積算地区単価	基準地区単価	摘　　要	備　　　考
R						
R1	普通作業員					
R2	土木一般世話役					
Z						
Z1	目地材 厚10mm(歴青質板又は同等品)					
日当り作業量補正(道路維持等作業効率低下) ： 無						
目地板の種類 ： 瀝青質目地板(t=10)						
目地板の種類(瀝青質目地板(t=10)) ： 目地材 ； 厚10mm(歴青質板又は同等品)						
目地板材料費の単位選択 ：「m2」単位の目地材材料費						

代価表

ｱｽﾌｧﾙﾄ混合物
再生密粒度ｱｽｺﾝ(13)

37号代価表

1 t 当り

名 称 ・ 規 格	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要	備 考
ｱｽﾌｧﾙﾄ再生合材 密粒度ｱｽｺﾝ(13)	t	1				
計						
1 t 当り						
再生密粒度ｱｽｺﾝ(13) ： ｱｽﾌｧﾙﾄ再生合材； 密粒度ｱｽｺﾝ(13)						
ｱｽﾌｧﾙﾄ混合物の単位選択 ：「t」単位の材料単価						
ｱｽﾌｧﾙﾄ混合物小型車割増額の計上 ： 計上しない						
ｱｽﾌｧﾙﾄ混合物夜間割増額の計上 ： 計上しない						

代価表

生ｺﾝｸﾘｰﾄ
18-8-40(高炉)

38号代価表

1 m3当り

名 称 ・ 規 格	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要	備 考
(高炉)生ｺﾝｸﾘｰﾄ 18-8-25,18-8-40 B種	m3	1				
計						
1 m3 当り						

生ｺﾝｸﾘｰﾄ規格 18-8-40(高炉) ： (高炉)生ｺﾝｸﾘｰﾄ ; 18-8-25,18-8-40 B種
生ｺﾝｸﾘｰﾄの夜間割増の有無 ： 無
生ｺﾝｸﾘｰﾄ小型車割増額の計上 ： 計上しない
生ｺﾝｸﾘｰﾄ山岳割増額の計上 ： 計上しない
生ｺﾝｸﾘｰﾄ冬期加熱費計上区分(標準=なし) ： 計上しない

代価表

生ｺﾝｸﾘｰﾄ
18-8-25(20)(高炉)

39号代価表

1 m3当り

名　称　・　規　格	単位	数　量	単　　価	金　　額	摘　　　要	備　　　考
(高炉)生ｺﾝｸﾘｰﾄ 18-8-25,18-8-40　B種　W/C=60%以下	m3	1				
計						
1 m3 当り						
生ｺﾝｸﾘｰﾄ規格 18-8-25(20)(高炉) ： (高炉)生ｺﾝｸﾘｰﾄ； 18-8-25,18-8-40　B種　W/C=60%以下 生ｺﾝｸﾘｰﾄの夜間割増の有無 ： 無						
生ｺﾝｸﾘｰﾄ小型車割増額の計上 ： 計上しない 生ｺﾝｸﾘｰﾄ山岳割増額の計上 ： 計上しない						
生ｺﾝｸﾘｰﾄ冬期加熱費計上区分(標準=なし) ： 計上しない						

不整地運搬車(賃料)
ｸﾛｰﾗ型ﾀﾞﾝﾌﾟ全旋回式6~7t積級

単価表

1号単価表

1 日当り

名 称 ・ 規 格	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要	備 考
運転手(特殊)	人					
軽油 小型ﾛｰﾘｰ ﾊﾟﾄﾛｰﾙ給油	L					
不整地運搬車(賃貸) ｸﾛｰﾗ型 ﾀﾞﾝﾌﾟ全旋回式6～7t積級	台/日					
諸 雑 費	式	1				
計						
1 日 当り						
1日当り損料又は賃料数量 ： Sd2=1.54供用日 (不整地運搬車)賃料長期割引の適用 ： 長期割引あり						
1日当り労務数量 ： Rd2=1人 軽油 ： 軽油； 小型ﾛｰﾘｰ ﾊﾟﾄﾛｰﾙ給油						
1日当り燃料又は電力数量 ： Nd2=112L,kWh						

平　面　図

S=1:500

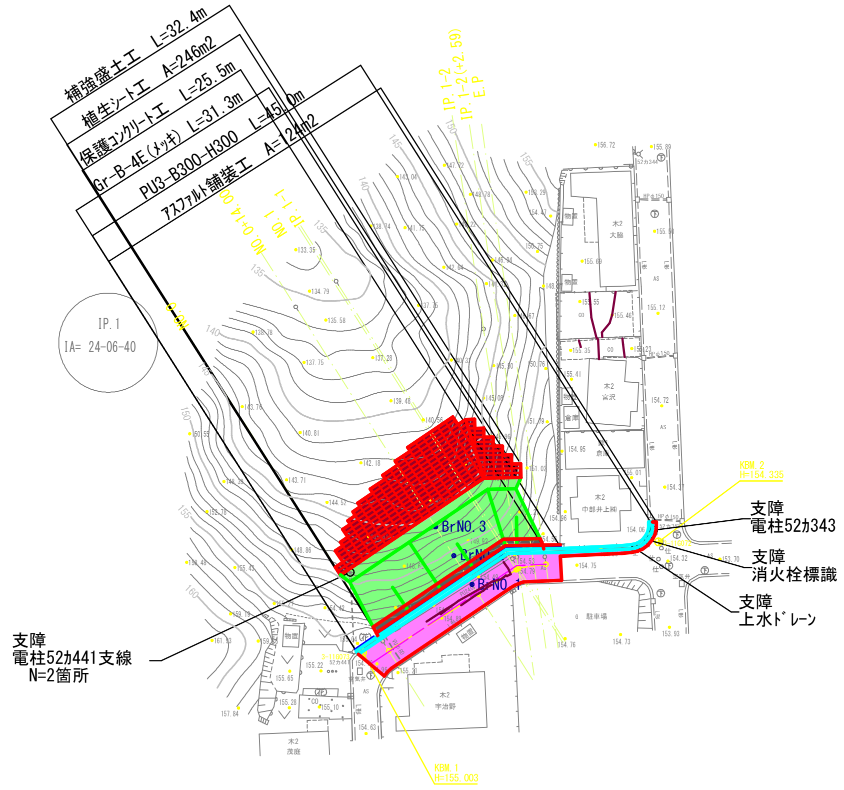
注1）平面図に引出計上している支障物件があるため、協議、移設が発生する。
注2）現況斜面の樹木については、施工前に立木調査等を行い、移植するか、伐木除根（処分）とするか、協議が必要である。

注3）既設石積み取壊し時、補強土壁床掘時等に、比較的軟弱層を切り込む施工となるため、大きな滑り破壊が生じないよう、細心の注意を払い作業にあたること。
注4）EPから南側の側溝のみ入替部は、民家のﾌﾞﾛｯｸ塀近接施工となる。ﾌﾞﾛｯｸ塀の十分な養生を取り、変異や倒壊が発生しないよう配慮すること。
注5）全体が腹付け盛土となるため、段切り施工を確実に行い、地山と盛土の馴染みが良くなるよう配慮すること。
注6）現場は谷地形を呈し、集水作用による湧水が発生する場合がある。掘削時等に湧水を確認した場合は、監督員と協議し、補強盛土下端まで確実に排水できる対策を行うこと。

可　児　市

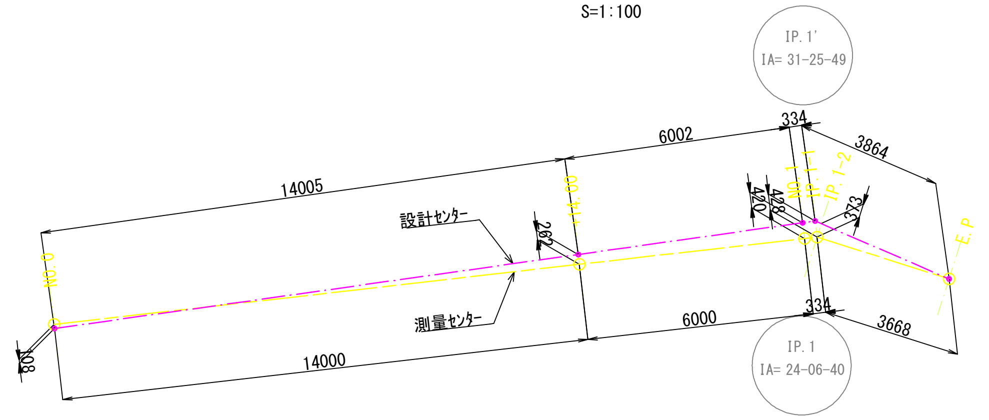
広眺ヶ丘八丁目

縮尺1：500



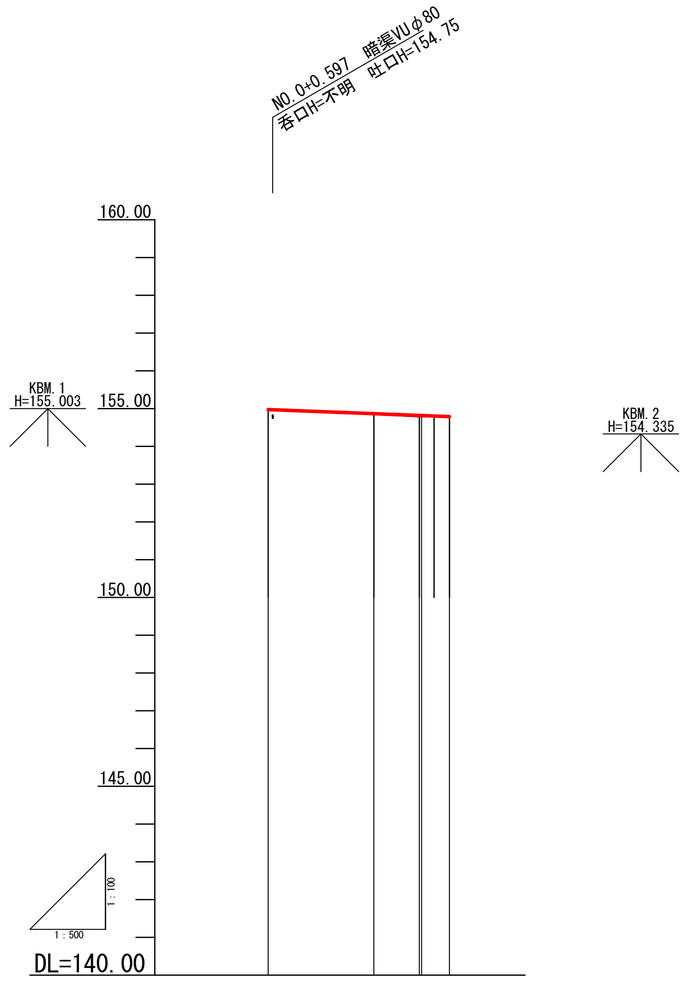
線形移動図

S=1:100



工事名	市道2025号線（広眺ヶ丘）補強盛土工事	
路線・河川名等	市道　2025　号線	
施工箇所名	可児市　広眺ヶ丘八丁目　地内	
図面の種類	平面図	
縮　　尺	S=1:500	
事務所名	可　　児　　市	

縦断図



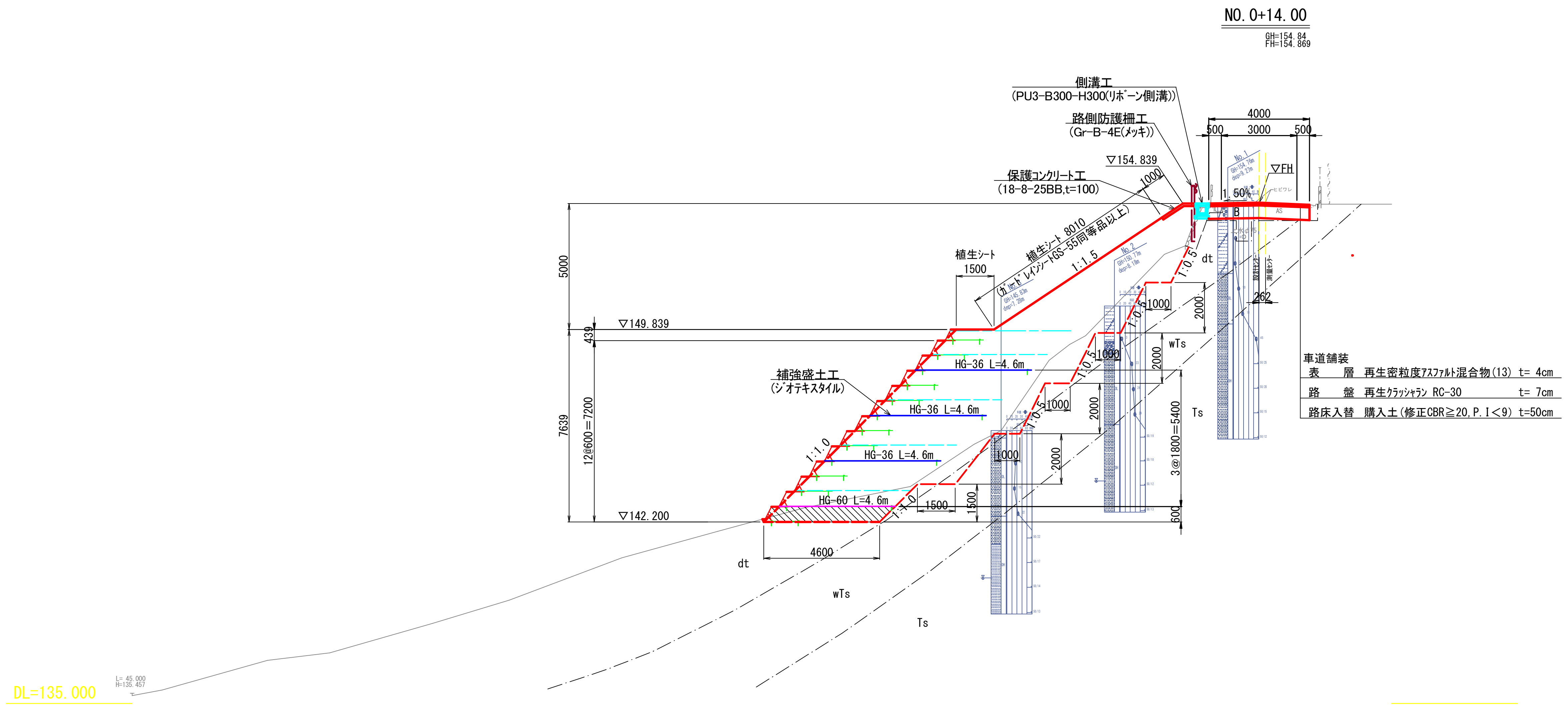
	NO.0	+14.00	NO.1	IP.1	E.P
勾配	154.980	i=0.792% L=24.001m			154.790
切土高	0				0
盛土高	0	0.03	0.04	0.04	0
計画高	154.980	154.869	154.822	154.819	154.790
地盤高	154.98	154.84	154.78	154.78	154.79
追加距離	0.000	14.000	20.000	20.333	24.001
単距離	0.000	14.000	6.000	0.333	3.668
測点番号	NO.0	+14.00	NO.1	IP.1	E.P
平面線形曲率図			IP.1 IA=24°06′40″		
片勾配摺付け図	(-1.500)				(-1.500)
拡幅摺付け図					

工事名	市道2025号線(広眺ヶ丘)補強盛土工事
路線・河川名等	市道 2025 号線
施工箇所名	可児市 広眺ヶ丘八丁目 地内
図面の種類	縦断図
縮尺	V=1:100 H=1:500
事務所名	可児市

標準横断図

S=1:100

設計条件	
道路規格	第3種第5級
設計速度	V=20km/h
上載荷重	10kN/m2



設計条件

盛土材	φ=30°, γ=19.0kN/m3, c=0 (全体安定検討時c=10)
重要度	重要度2
耐震設計	検討しない
活荷重	10.0kN/m2

※盛土材は、設計条件に示した値と同等以上の良質で排水性の良い粗粒土を使用すること。

※予期せぬ湧水が確認され設計の排水施設では満足しないと判断される場合には監督員と協議の上，排水施設の増設などを検討し，盛土内への浸水を防止すること。

施工管理基準値

適用	管理項目		管理基準
盛土の締固め規定	品質規定	乾燥密度規定	施工時の含水比は最適含水比Woptと下記の締固め度が得られる湿潤側の含水比範囲とする。 ・JISＡ1210のＡ，Ｂ法による最大乾燥密度の95%以上、 もしくはＣ，Ｄ，Ｅ法による最大乾燥密度の90%以上とする。

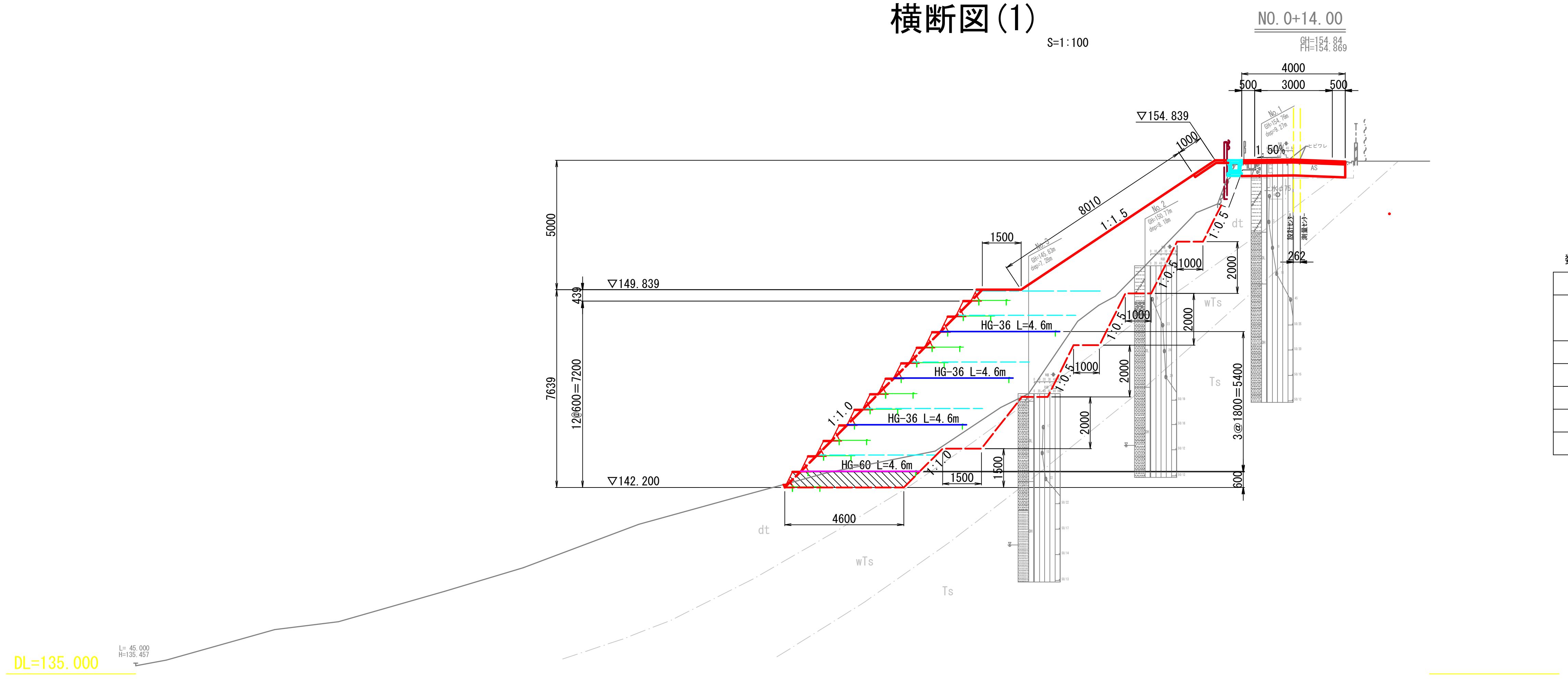
地層凡例

時代区分		地層名	記号	土層･岩種	特徴
第四紀	完新世	盛土	B	礫質土	道路舗装の盛土で砂礫からなる。径10cm前後の巨礫が混じる砂礫。表層5cmはアスファルト。
		崖錐堆積物	dt	粘性土	旧表土～崖錐堆積物と考えられる粘性土層。含水やや低位で軟質な土層であり、径2～10mmの礫や砂分を混入する。未分解腐植物も点在。
新第三紀	中新世	瑞浪層群	wTs	強風化砂岩	砂岩を主体とする強風化岩。岩組織は残存するが、岩芯まで風化して軟質化する。固結砂状を呈すが指圧で砕けやすい。
			Ts	砂岩	比較的新鮮な砂岩で、一部に泥岩を伴う。コアはL=5～20cm程度の短柱状を呈すが、岩質は軟質でナイフの刃で傷が付く他、割れ易い。

工事名	市道2025号線(広畷ヶ丘)補強盛土工事
路線･河川名等	市道 2025 号線
施工箇所名	可児市 広畷ヶ丘八丁目 地内
図面の種類	標準横断図
縮尺	S=1:100
事務所名	可児市

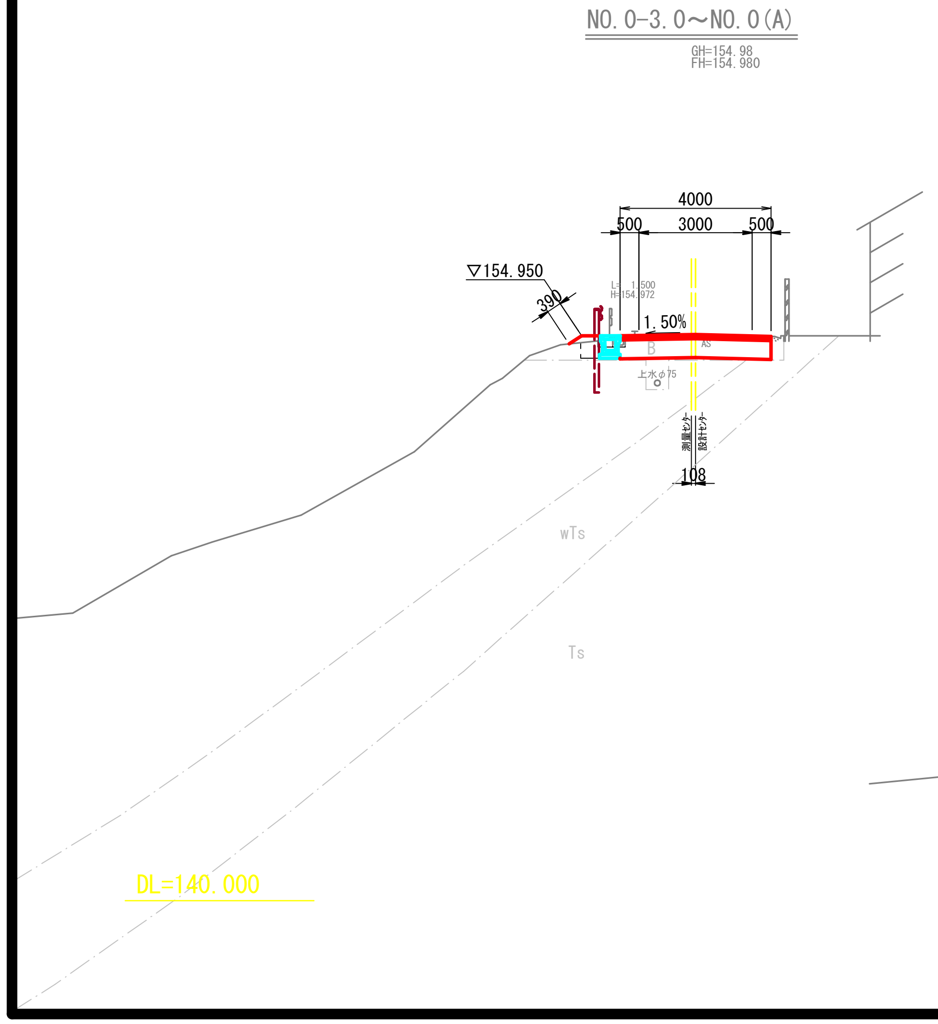
横断図(1)

S=1:100



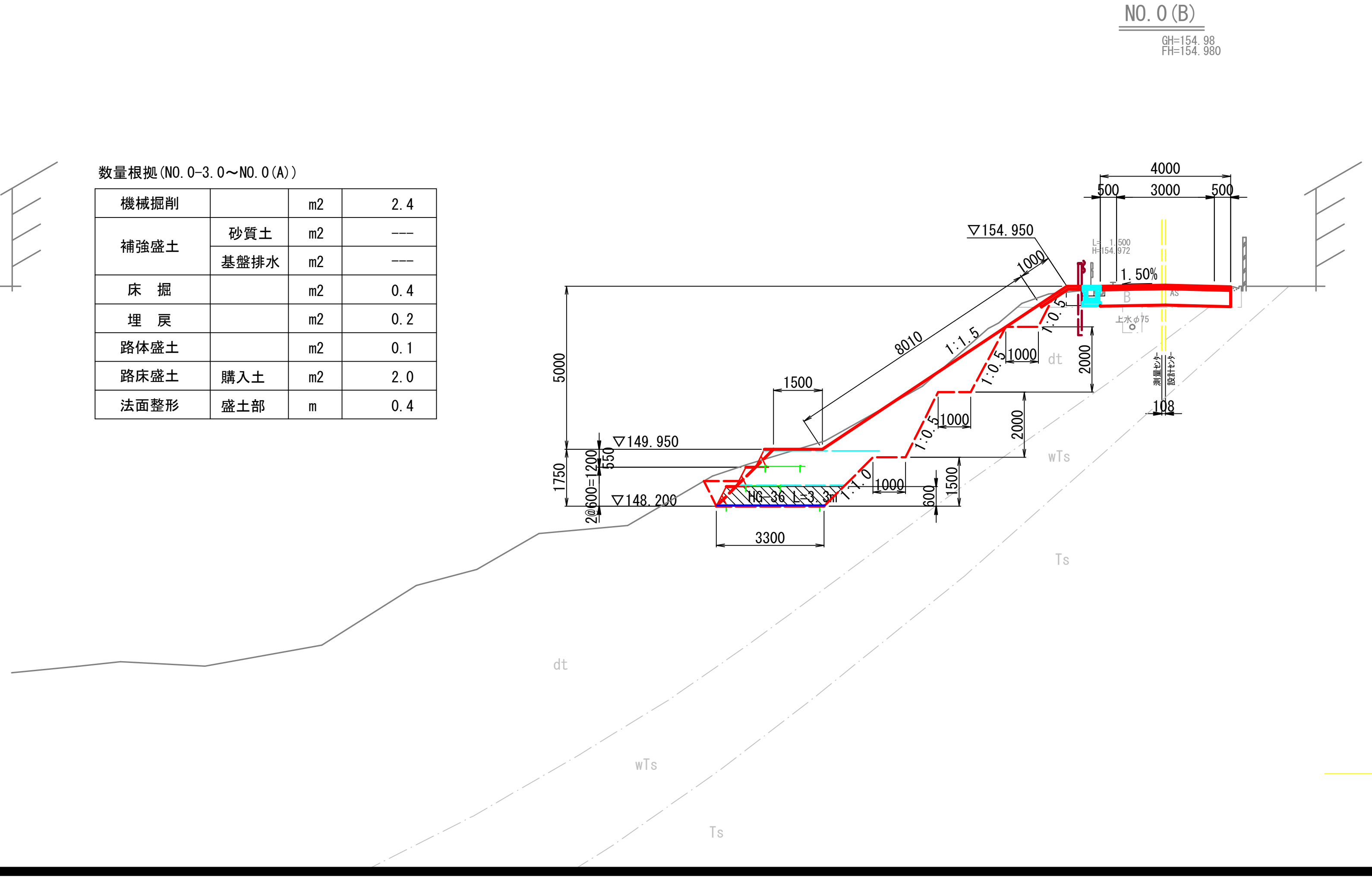
数量根拠(NO.0+14.00)

機械掘削		m2	2.1
補強盛土	砂質土	m2	38.9
	基盤排水	m2	2.9
床　掘		m2	7.1
埋　戻		m2	0.1
路体盛土		m2	14.4
路床盛土	購入土	m2	2.0
法面整形	盛土部	m	9.0



数量根拠(NO.0-3.0～NO.0(A))

機械掘削		m2	2.4
補強盛土	砂質土	m2	---
	基盤排水	m2	---
床　掘		m2	0.4
埋　戻		m2	0.2
路体盛土		m2	0.1
路床盛土	購入土	m2	2.0
法面整形	盛土部	m	0.4



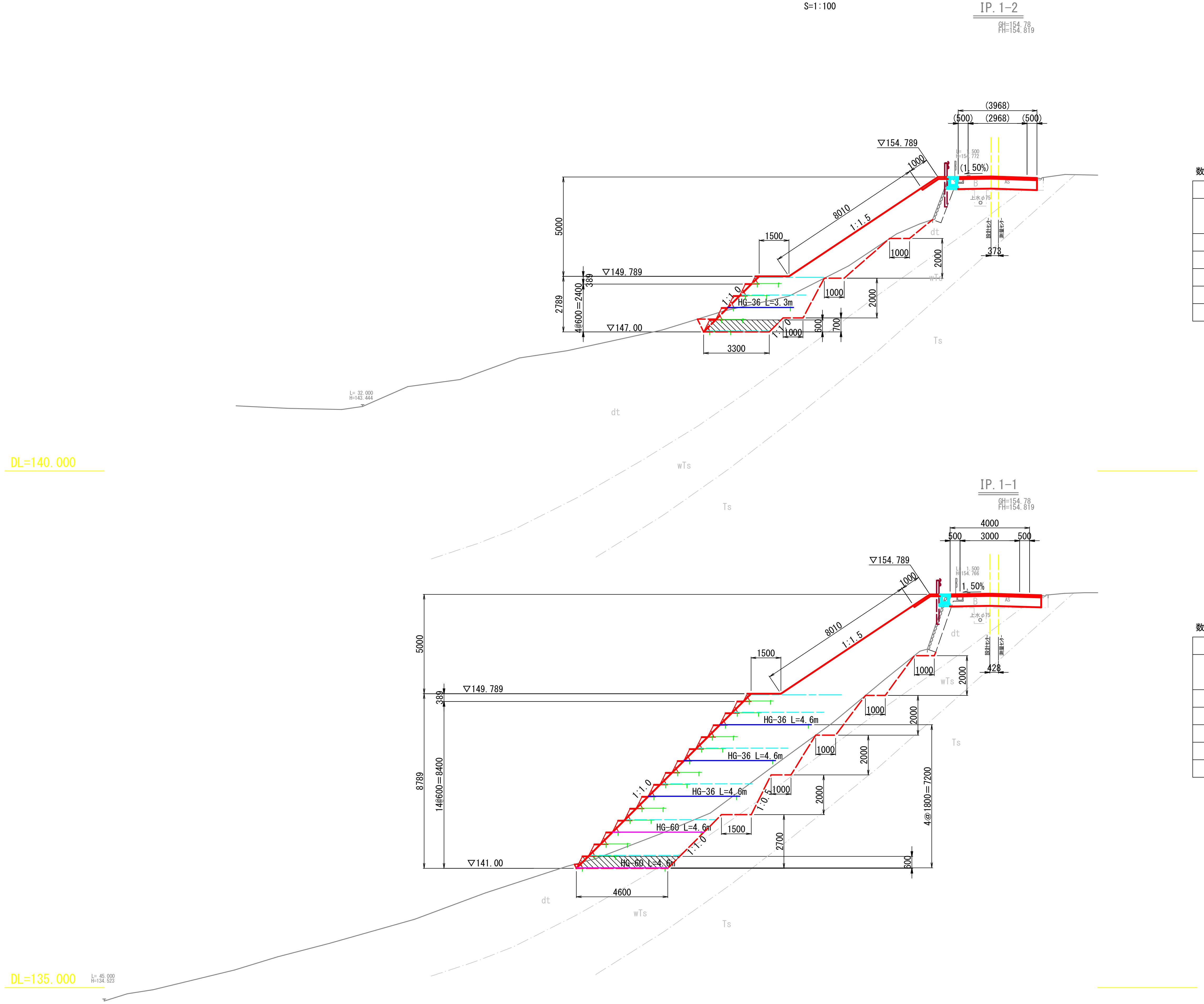
数量根拠(NO.0(B))

機械掘削		m2	2.4
補強盛土	砂質土	m2	4.0
	基盤排水	m2	2.1
床　掘		m2	11.3
埋　戻		m2	0.6
路体盛土		m2	3.3
路床盛土	購入土	m2	2.0
法面整形	盛土部	m	9.0

工事名	市道2025号線(広眺ヶ丘)補強盛土工事	
路線･河川名等	市道 2025 号線	
施工箇所名	可児市 広眺ヶ丘八丁目 地内	
図面の種類	横断図(1)	
縮　尺	S=1:100	
事務所名	可　児　市	

横断図(2)

S=1:100



数量根拠(IP.1-2)

機械掘削		m2	2.3
補強盛土	砂質土	m2	7.6
	基盤排水	m2	2.1
床　掘		m2	6.0
埋　戻		m2	0.2
路体盛土		m2	11.0
路床盛土	購入土	m2	2.0
法面整形	盛土部	m	9.0

数量根拠(IP.1-1)

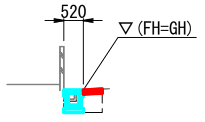
機械掘削		m2	2.4
補強盛土	砂質土	m2	42.7
	基盤排水	m2	2.9
床　掘		m2	9.3
埋　戻		m2	0.1
路体盛土		m2	16.7
路床盛土	購入土	m2	2.3
法面整形	盛土部	m	9.0

工事名	市道2025号線(広眺ヶ丘)補強盛土工事	
路線・河川名等	市道 2025 号線	
施工箇所名	可児市 広眺ヶ丘八丁目 地内	
図面の種類	横断図(2)	
縮　　尺	S=1:100	
事 務 所 名	可　　児　　市	

横断図(3)

S=1:100

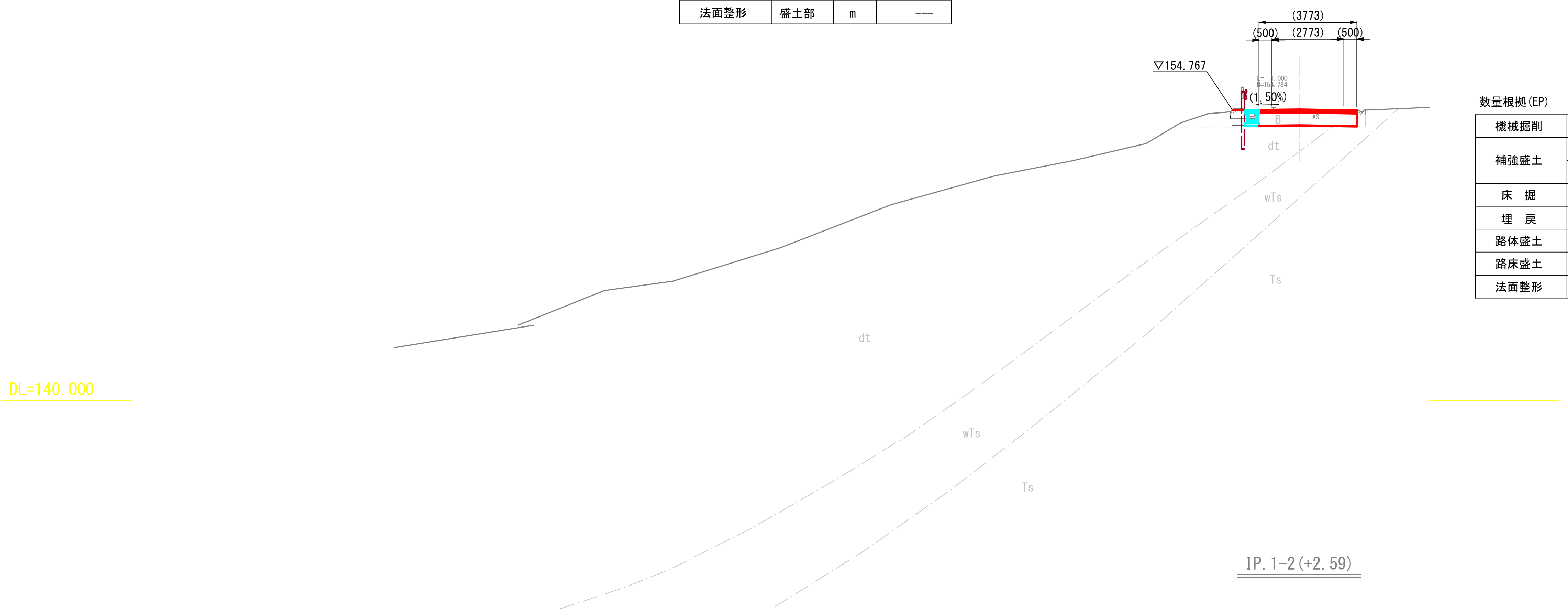
(E.P+2.0～EP+16.4)



数量根拠(E.P+2.0～EP+16.4)

機械掘削		m2	---
補強盛土	砂質土	m2	---
	基盤排水	m2	---
床　掘		m2	0.5
埋　戻		m2	0.3
路体盛土		m2	---
路床盛土	購入土	m2	---
法面整形	盛土部	m	---

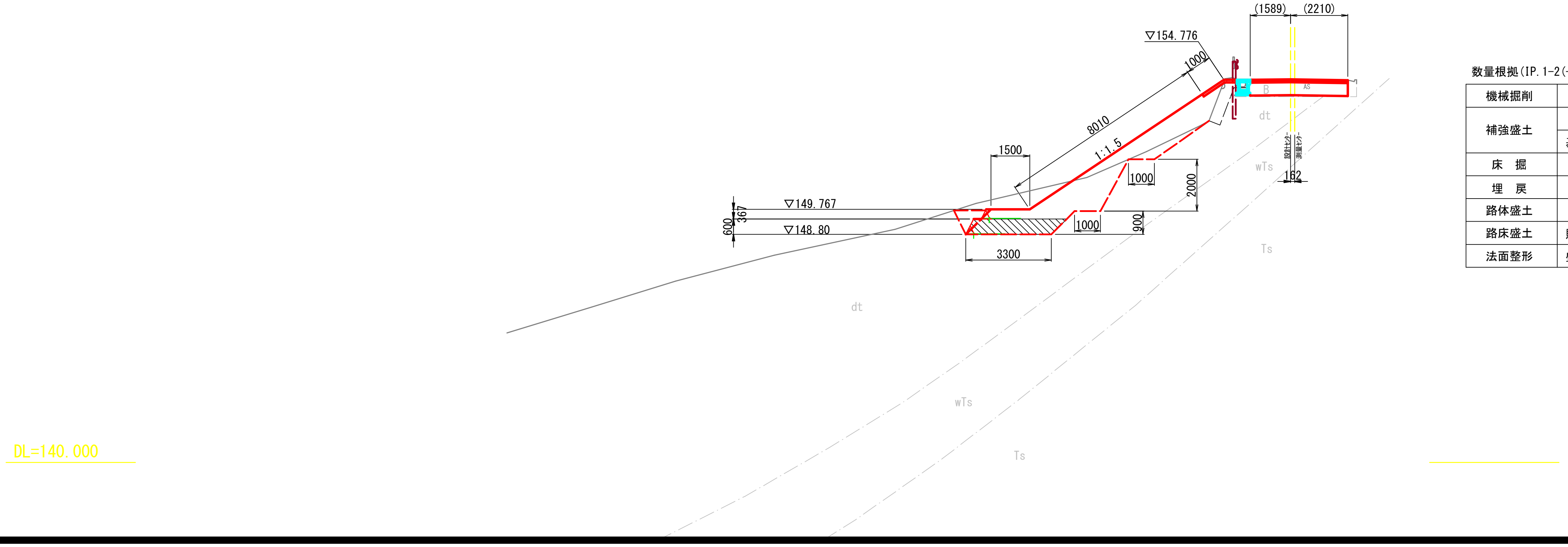
E.P



数量根拠(EP)

機械掘削		m2	2.3
補強盛土	砂質土	m2	---
	基盤排水	m2	---
床　掘		m2	0.3
埋　戻		m2	0.3
路体盛土		m2	---
路床盛土	購入土	m2	1.9
法面整形	盛土部	m	---

IP.1-2(+2.59)



数量根拠(IP.1-2(+2.26))

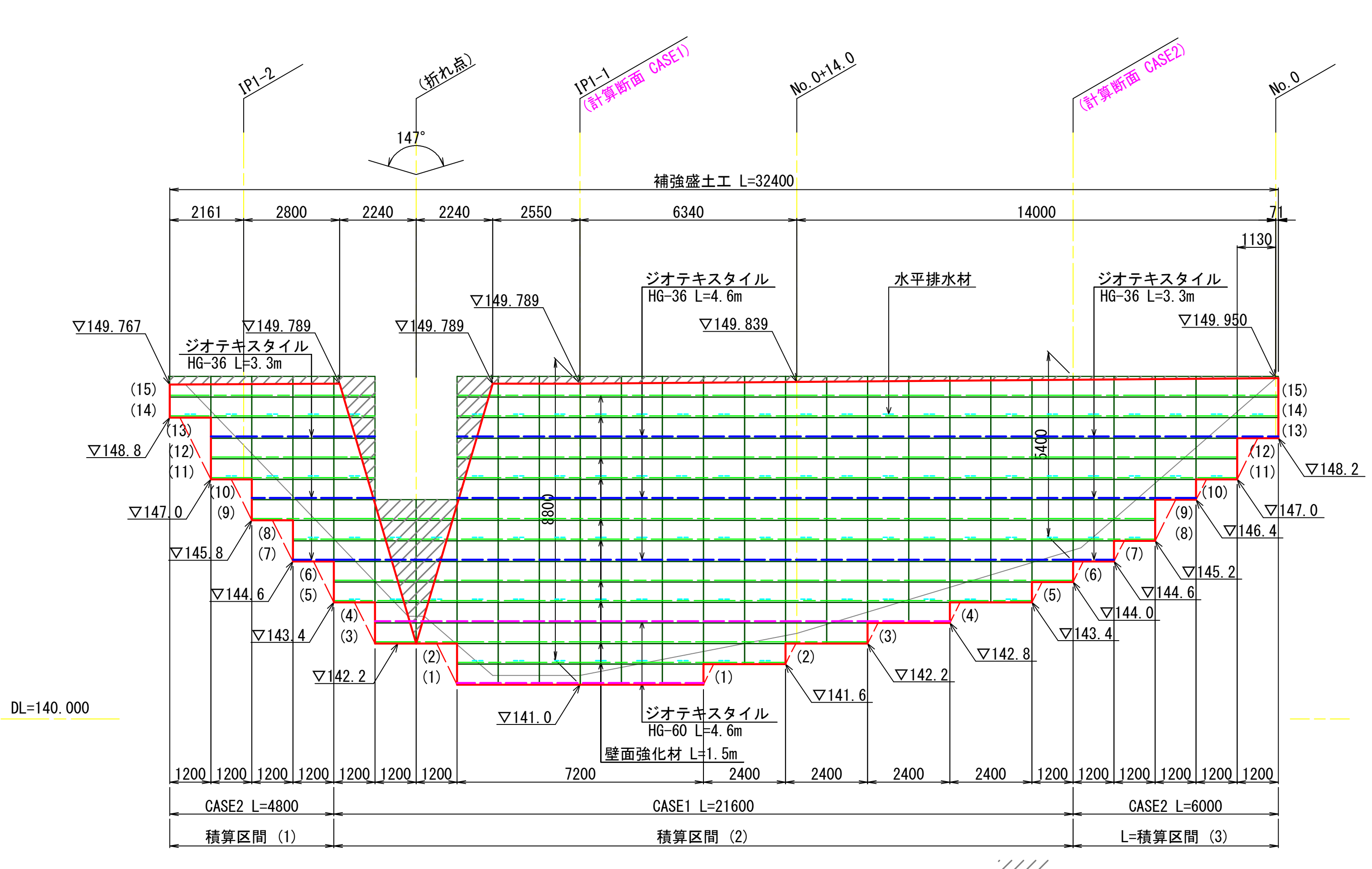
機械掘削		m2	2.5
補強盛土	砂質土	m2	1.2
	基盤排水	m2	2.1
床　掘		m2	7.7
埋　戻		m2	0.5
路体盛土		m2	6.9
路床盛土	購入土	m2	1.9
法面整形	盛土部	m	9.0

工事名	市道2025号線(広眺ヶ丘)補強盛土工事
路線･河川名等	市道 2025 号線
施工箇所名	可児市 広眺ヶ丘八丁目 地内
図面の種類	横断図(3)
縮　　尺	S=1:100
事 務 所 名	可　　児　　市

補強盛土工一般図

補強盛土工展開図

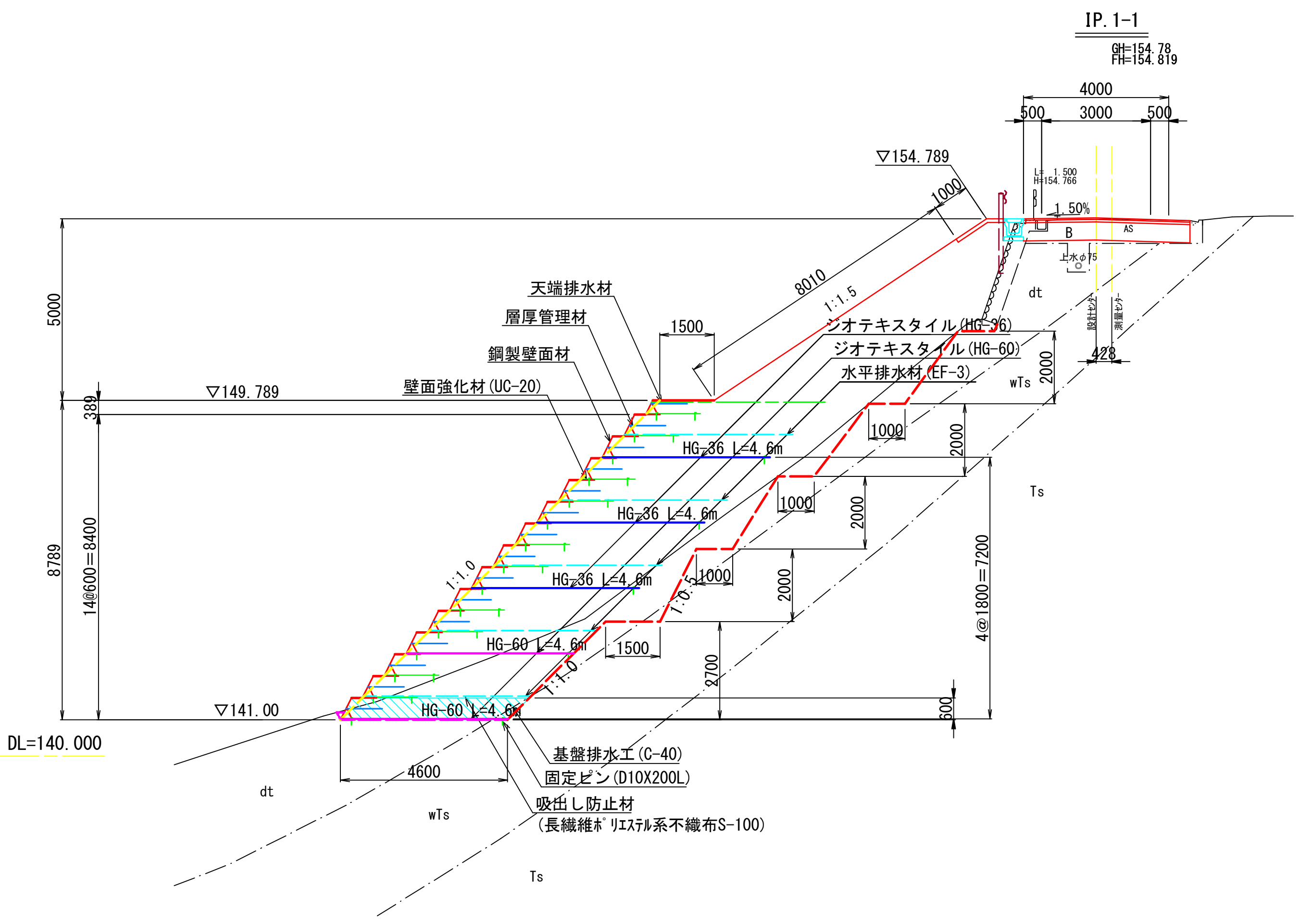
S=1: 100



ﾊﾟﾈﾙ切断箇所を示す。

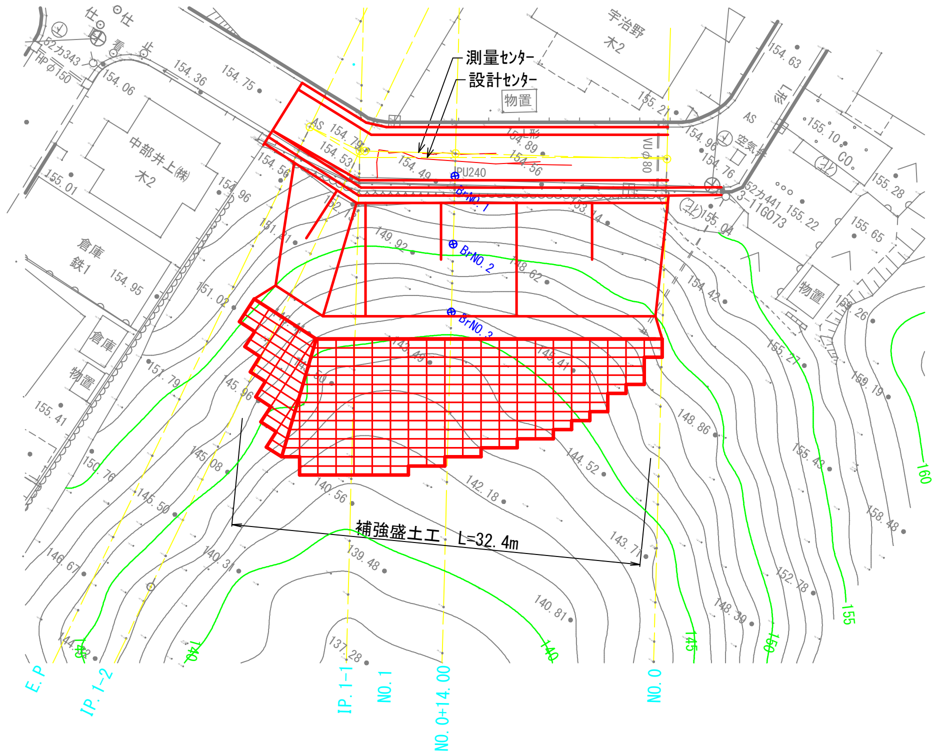
標準横断図

S=1: 100

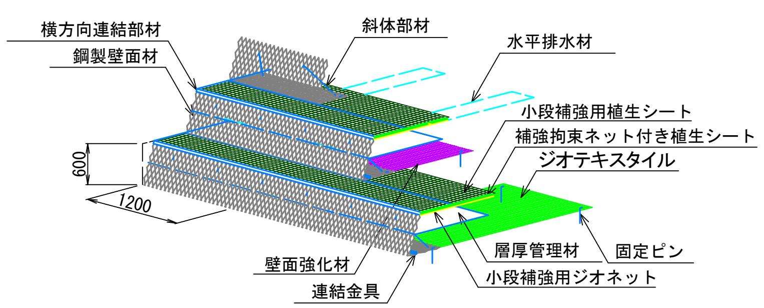


補強盛土工平面図

S=1: 250

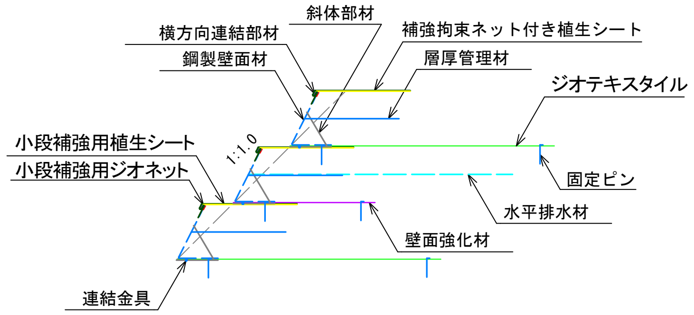


のり面詳細図



壁面部詳細図

S=1: 40



材料表

凡例	名称	規格寸法	単位	数量	備考
	ジオテキスタイル(主補強材)	HG-36	m2	335.5	
		HG-60	m2	110.4	
		合計	m2	445.9	
	鋼製壁面材	H=0.6m B=1.2m	set	279	勾配1:0.5
			m2	200.9	
	層厚管理材	SP-70E*BS 1*50	m2	306.9	
	補強拘束ネット付植生シー	SG-SP17MTG*GR25	m	334.8	
	小段補強用植生シート	AD-GR25	m	304.8	
	小段補強用ジオネット	SN-H-0605-500	m	304.8	
	壁面強化材	UC-20	m2	349.2	
	連結金具	AD-JGL*AZ-SET	set	26	
	固定ピン	AD-D10*200	本	1624	
	パネル切断面積		m2	13.6	CAD計測

材料表

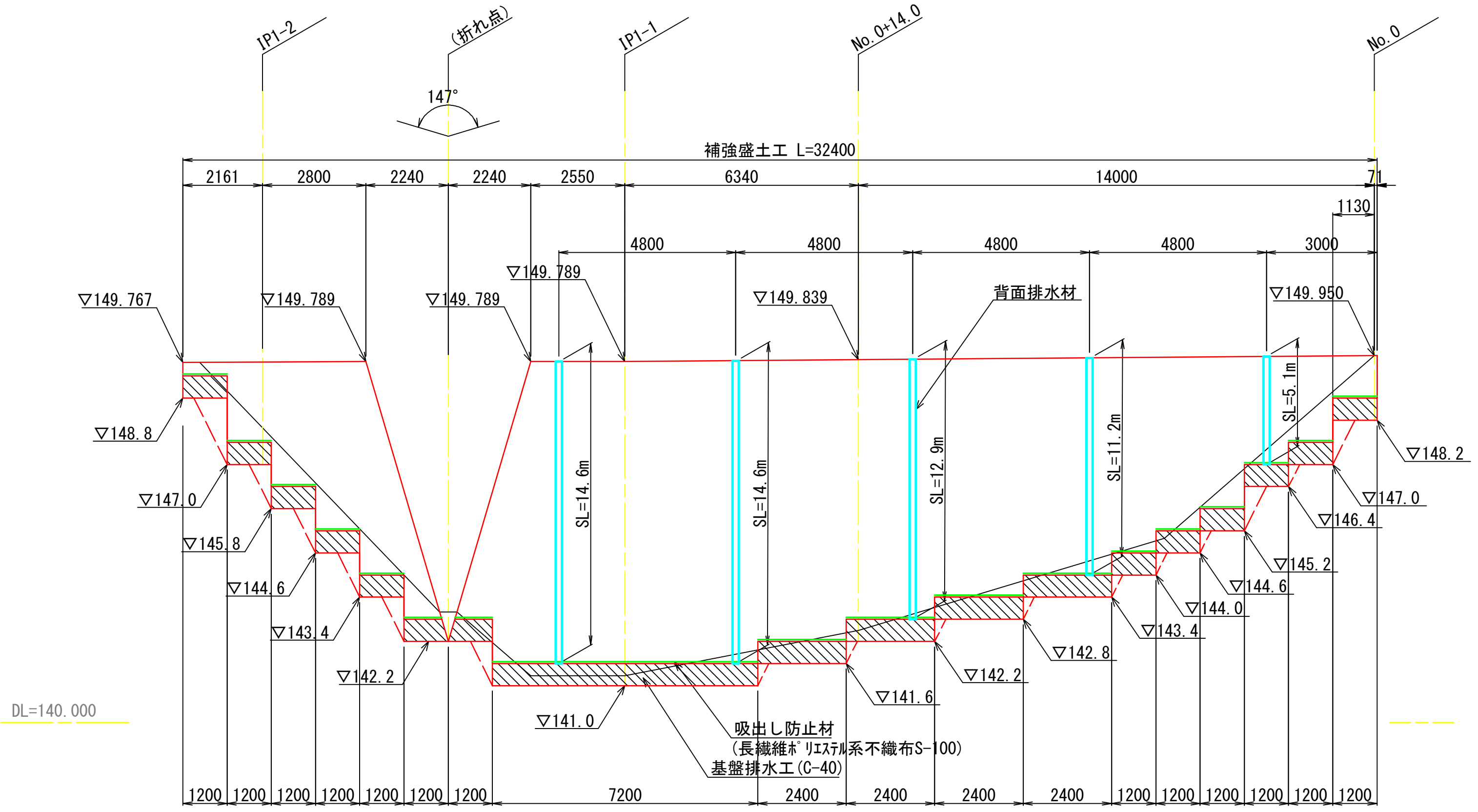
凡例	名称	規格寸法	単位	数量	備考
	水平排水材	EF-3	m	407.7	
	天端排水材	S-300	m2	114.4	
	固定ピン	AD-D10*200	本	29	天端排水材用
	基盤排水工	C-40	m3	78.0	
	吸出し防止材	長繊維ﾎﾟﾘｴｽﾃﾙ系不織布 S-100	m2	130.0	基盤排水工用
	背面排水材	B=170mm	m	58.4	

工事名	市道2025号線(広眺ヶ丘)補強盛土工事	
路線・河川名等	市道 2025 号線	
施工箇所名	可児市 広眺ヶ丘八丁目 地内	
図面の種類	補強盛土工一般図	
縮尺	図示	
事務所名	可児市	

補強盛土工排水計画図

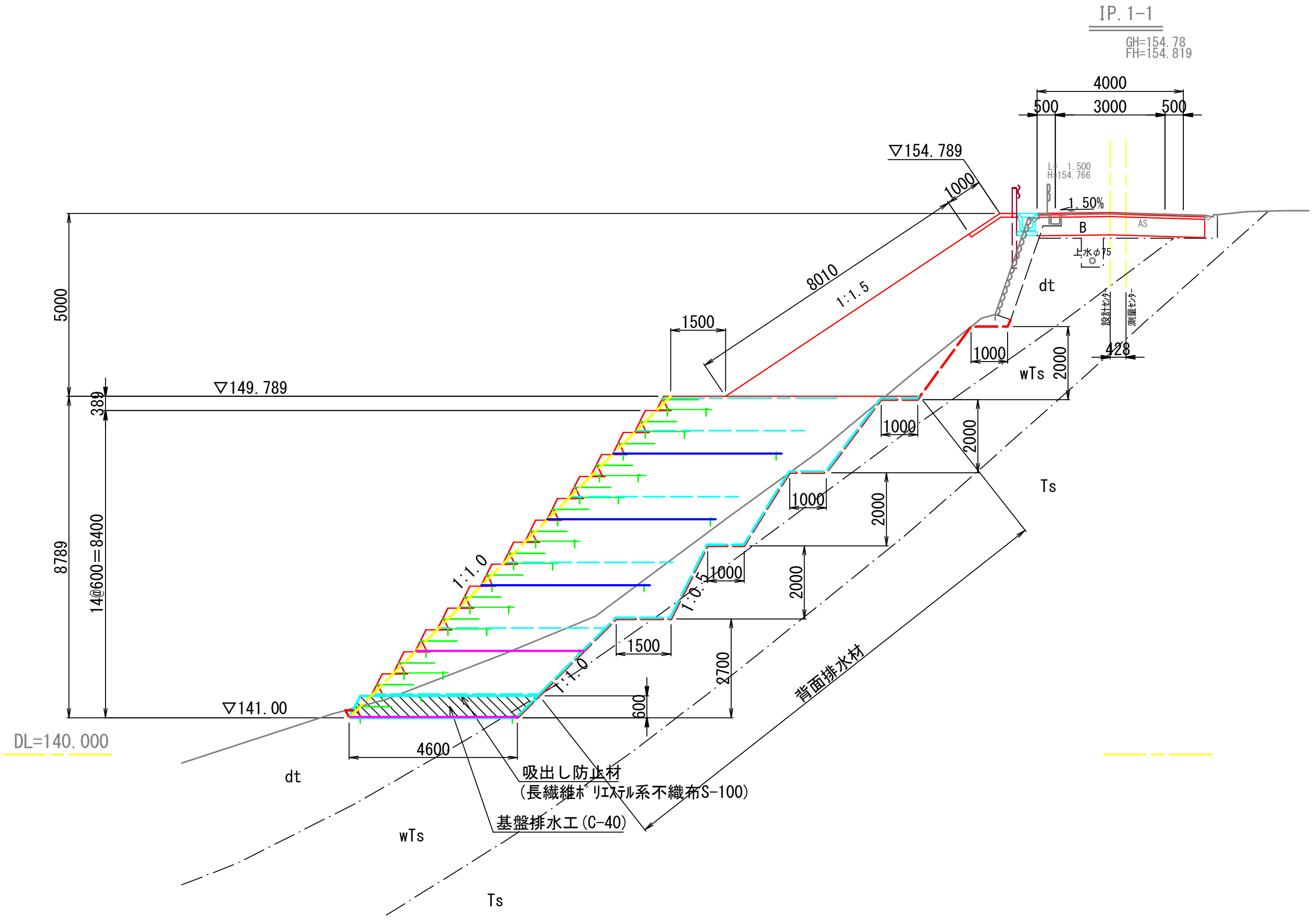
正面展開図

S=1: 100



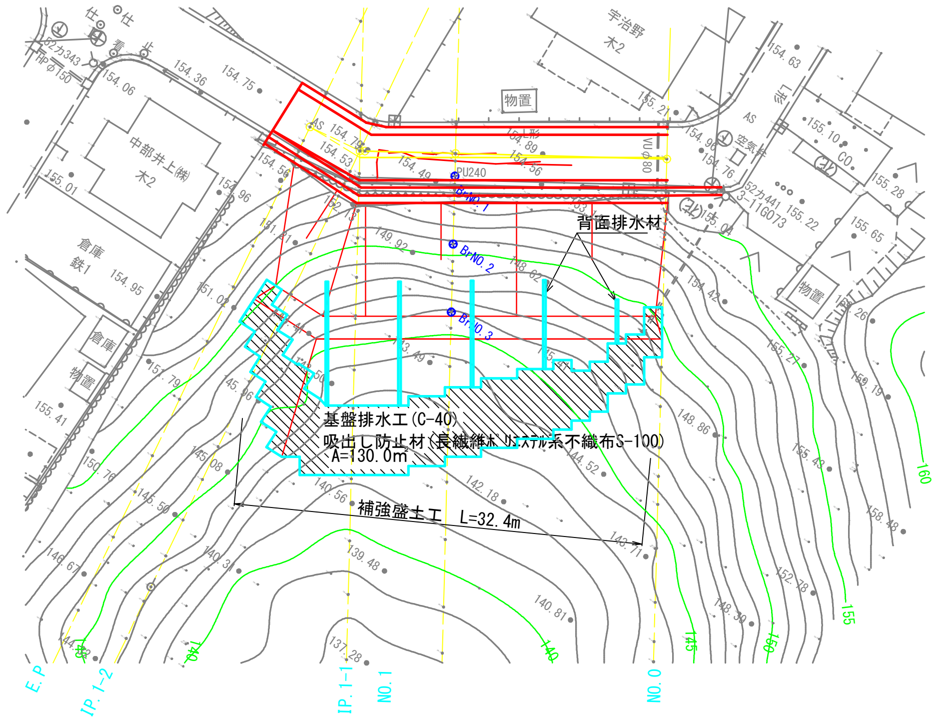
標準横断図

S=1: 100



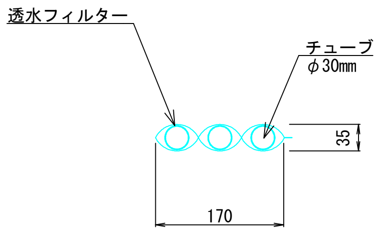
排水工平面図

S=1: 250



背面排水材（参考）

S=1: 5



【特記事項】

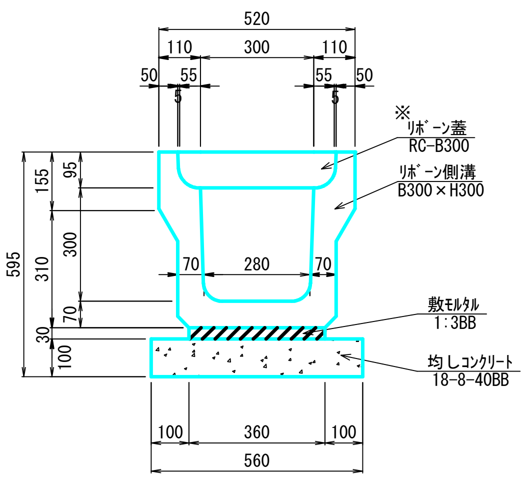
・湧水が多い場合など，予期せぬ状況になった場合は，監督員と協議の上，
　適宜，排水施設を増やすなどの処置を講じること。

工事名	市道2025号線(広眺ヶ丘)補強盛土工事
路線･河川名等	市道 2025 号線
施工箇所名	可児市 広眺ヶ丘八丁目 地内
図面の種類	補強盛土工排水計画図
縮　　尺	図 示
事 務 所 名	可　　児　　市

標準構造図

PU3-B300-H300

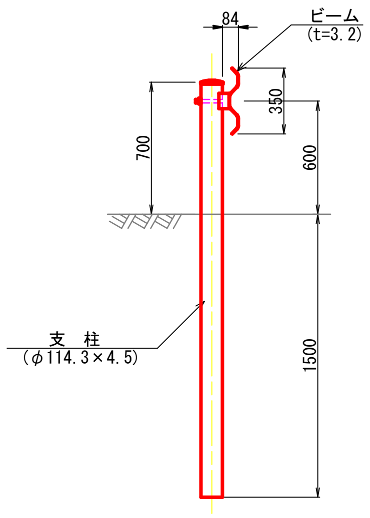
S=1:10



※側溝蓋は、10mに1枚、ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ蓋とする。

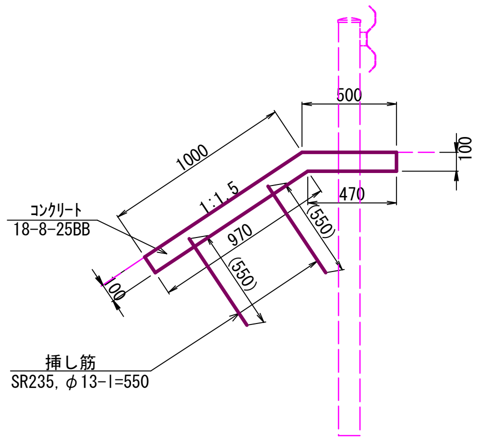
Gr-B-4E(ﾒｯｷ)

S=1:20



保護ｺﾝｸﾘｰﾄ

S=1:20



PU3-B300-H300　　10m当り

名　称	規　格	単位	数　量	摘　要
ﾘﾎﾞｰﾝ側溝	B300×H300	本	5.0	W=431kg/本
ﾘﾎﾞｰﾝ蓋	RC-300	枚	19.0	
ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ蓋	B300,T-25	枚	1.0	10mに1枚
敷ﾓﾙﾀﾙ	1:3BB	m3	0.1	
均しｺﾝｸﾘｰﾄ	18-8-40BB	m3	0.6	
同上型枠		m2	2.0	

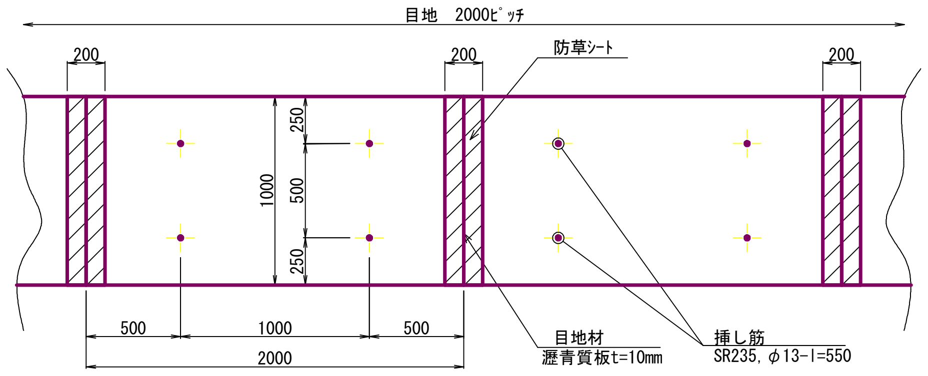
Gr-B-4E(ﾒｯｷ)　　10m当り

名　称	規　格	単位	数　量	摘　要
ｶﾞｰﾄﾞﾚｰﾙ	Gr-B-4E(ﾒｯｷ)	m	10.0	

保護ｺﾝｸﾘｰﾄ　　10m当り

名　称	規　格	単位	数　量	摘　要
ｺﾝｸﾘｰﾄ	18-8-25BB	m3	1.5	
挿し筋	SR235, φ13	kg	11.5	
目地材	瀝青質板t=10mm	m2	0.7	
防草ｼｰﾄ		m2	1.4	

目地部等標準図



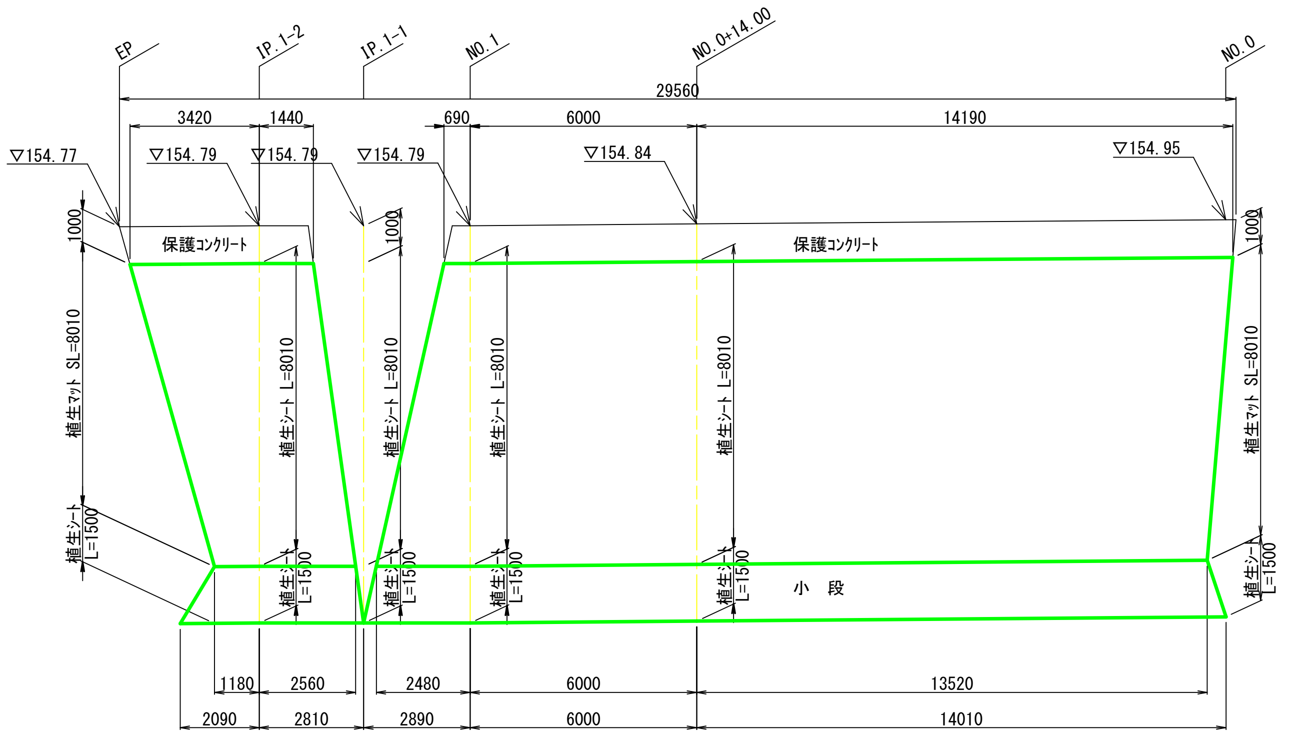
※保護路肩水平部も、垂れ部と目地位置を合わせ、同仕様で施工すること。

工事名	市道2025号線(広眺ヶ丘)補強盛土工事
路線･河川名等	市道 2025 号線
施工箇所名	可児市 広眺ヶ丘八丁目 地内
図面の種類	標準構造図
縮　　尺	S=1:20
事 務 所 名	可　　児　　市

法面工構造図

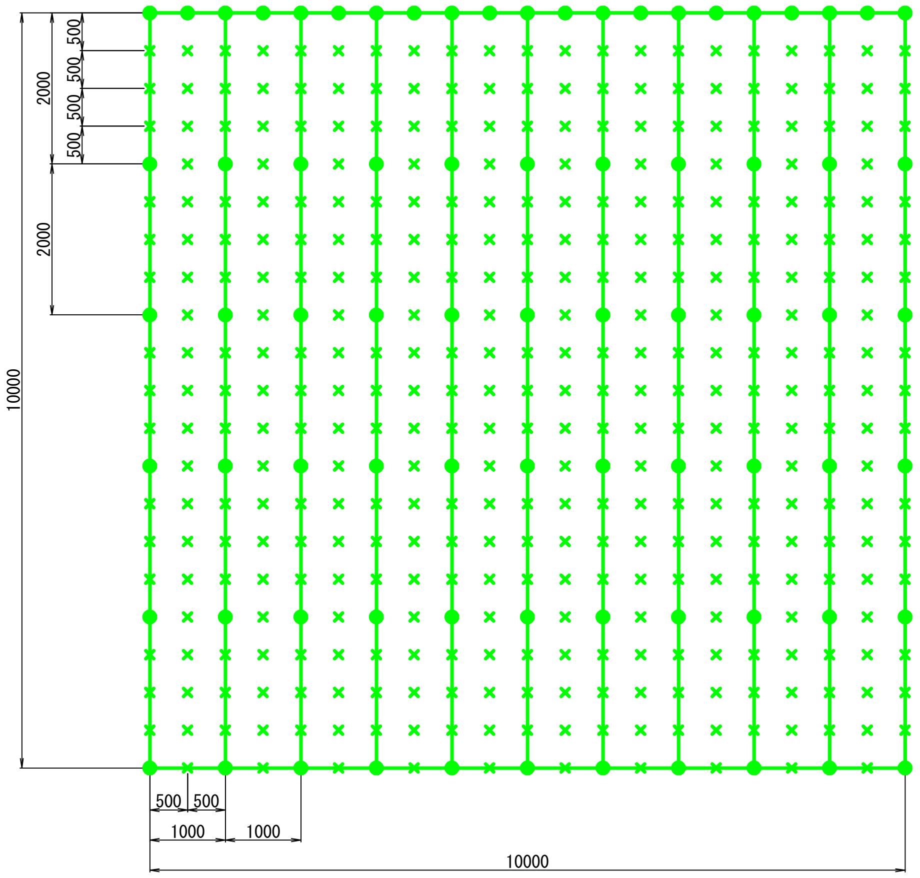
（植生ｼｰﾄ詳細図）

展 開 図
S=1:50



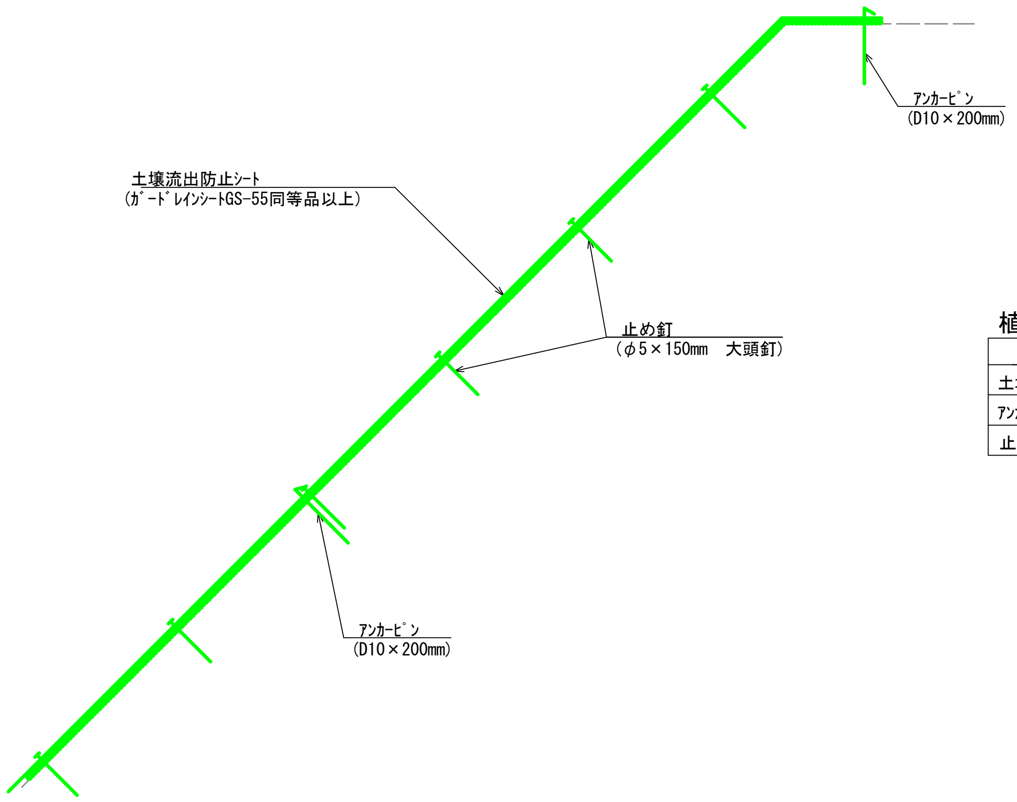
設置打設図
S=1:50

● ｱﾝｶｰﾋﾟﾝ
× 止め釘



※上図は、ｱﾝｶｰﾋﾟﾝ等の打設本数を算出するための模式図を示す。
法面の凹凸や、地質の状況に応じて打設ﾋﾟｯﾁを変更する必要が生じる。

標準断面図
S=1:20



植生ｼｰﾄ 100m2当り

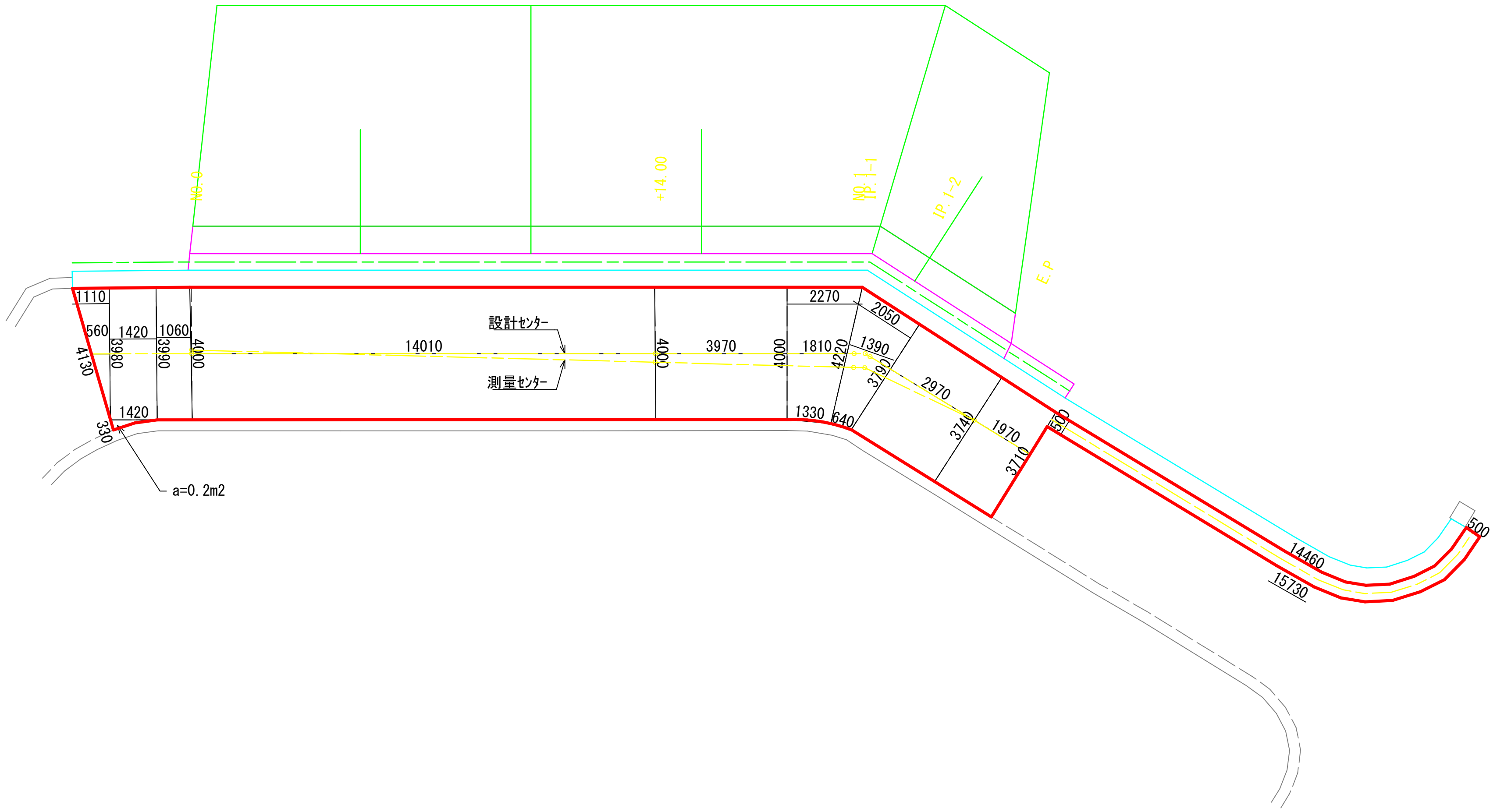
材 料 名	規 格 ・ 寸 法	単位	数量	備 考
土壌流出防止ｼｰﾄ	ｶﾞｰﾄﾞﾚｲﾝｼｰﾄGS-55同等品以上	m2	100	ﾛｽを含む
ｱﾝｶｰﾋﾟﾝ	D10×200mm	本	(76)	参考数量
止め釘	φ5×150mm 大頭釘	本	(365)	

工事名	市道2025号線(広眺ヶ丘)補強盛土工事
路線･河川名等	市道 2025 号線
施工箇所名	可児市 広眺ヶ丘八丁目 地内
図面の種類	法面工構造図
縮 尺	図 示
事 務 所 名	可 児 市

舗装工展開図

展 開 図

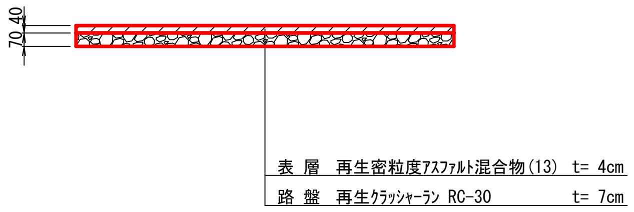
S=1:100



舗装断面図

S=1:20

車道舗装

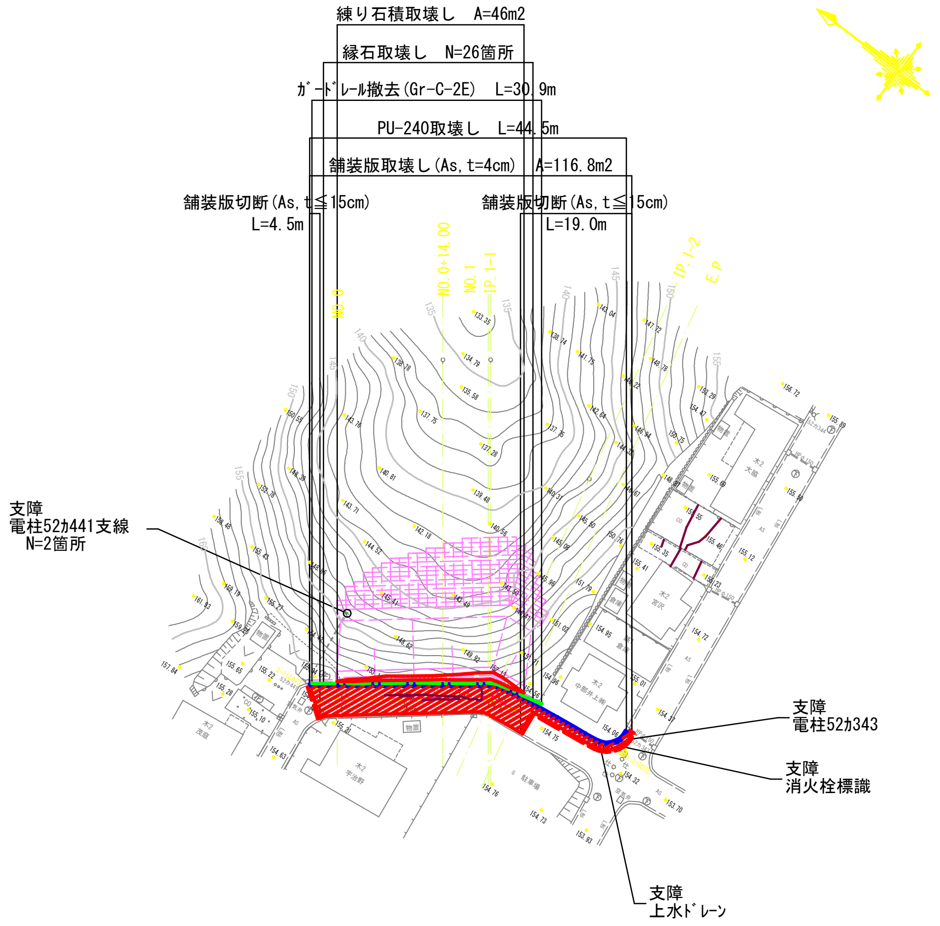


工事名	市道2025号線(広眺ヶ丘)補強盛土工事	
路線･河川名等	市道 2025 号線	
施工箇所名	可児市 広眺ヶ丘八丁目 地内	
図面の種類	舗装工展開図	
縮 尺	図 示	
事 務 所 名	可 児 市	

構造物撤去図

構造物撤去工平面図

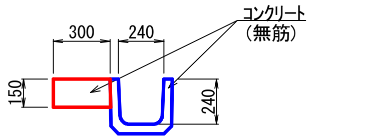
S=1:500



構図物撤去工構造図

S=1:20

PU-240取壊し

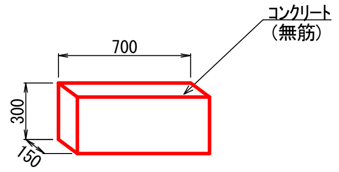


PU-240断面積
a=0.04m2

PU-240取壊し　　10m当り

名　称	規　格	単位	数　量	摘　要
ｺﾝｸﾘｰﾄ	無筋構造物	m3	0.85	

縁石取壊し

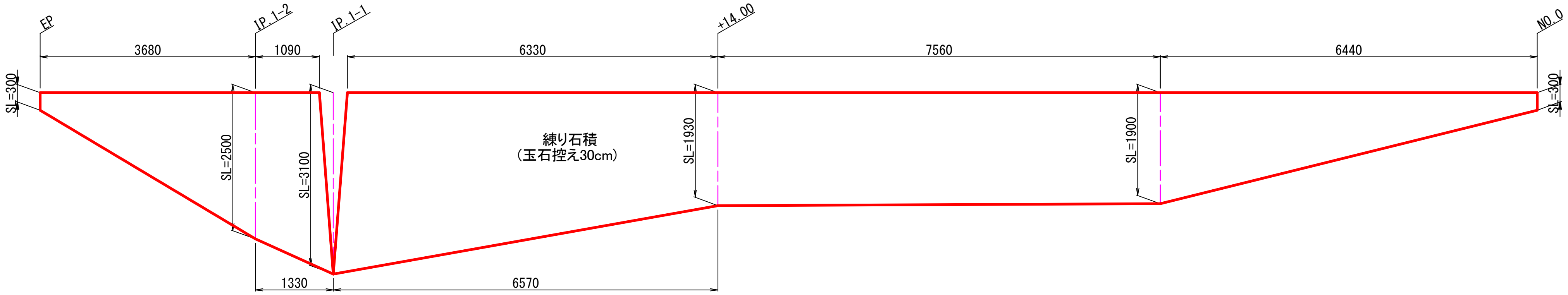


縁石取壊し　　10箇所当り

名　称	規　格	単位	数　量	摘　要
ｺﾝｸﾘｰﾄ	無筋構造物	m3	0.32	

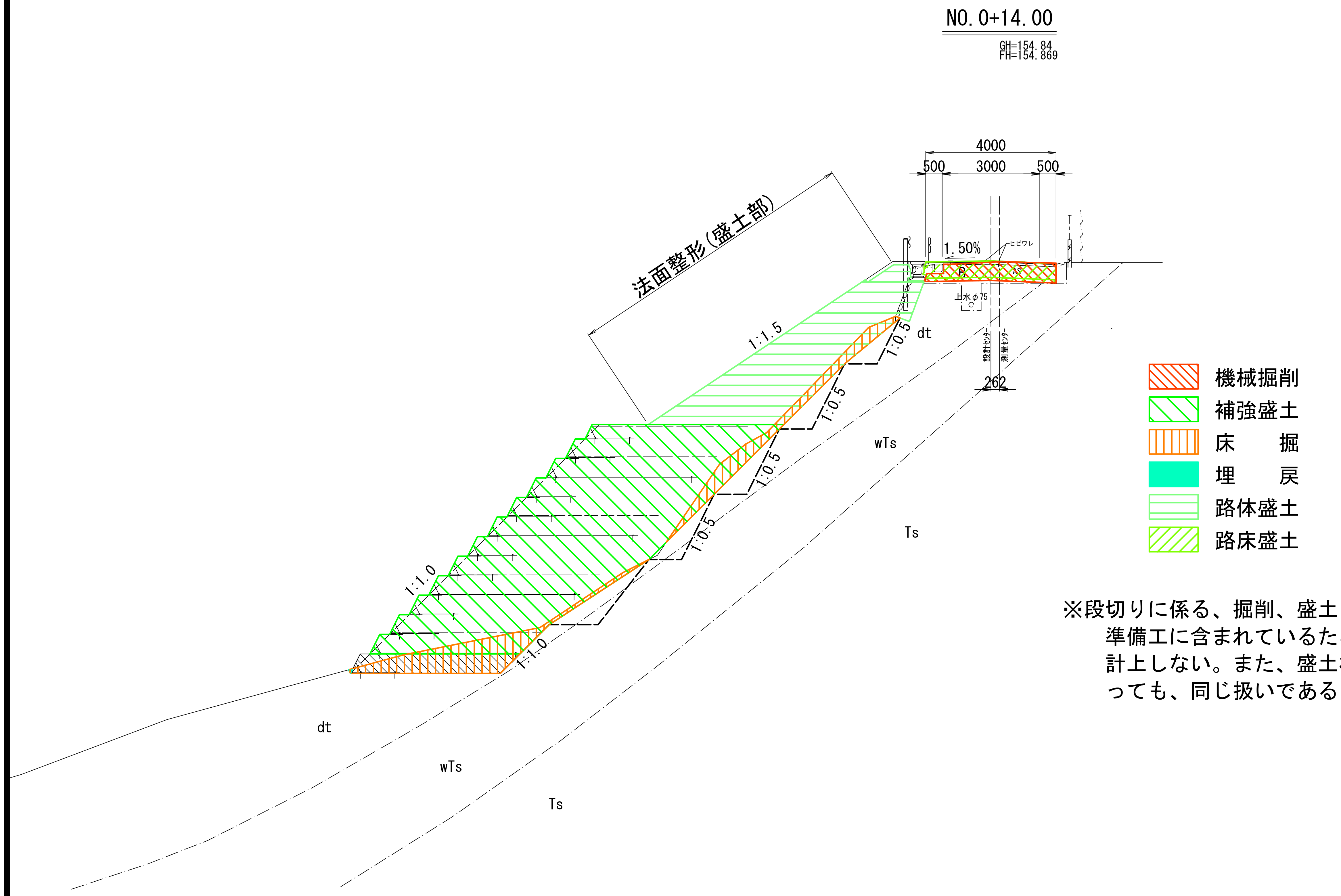
石積取壊し

S=1:50



工事名	市道2025号線(広眺ヶ丘)補強盛土工事
路線･河川名等	市道 2025 号線
施工箇所名	可児市 広眺ヶ丘八丁目 地内
図面の種類	構造物撤去図
縮　　尺	図 示
事 務 所 名	可　　児　　市

土工仕分け参考図



※段切りに係る、掘削、盛土に要する費用は、準備工に含まれているため、その数量は計上しない。また、盛土材料が購入土であっても、同じ扱いである。

工事名	市道2025号線(広眺ヶ丘)補強盛土工事
路線·河川名等	市道 2025 号線
施工箇所名	可児市 広眺ヶ丘八丁目 地内
図面の種類	土工仕分け参考図
縮　尺	S=1:100
事務所名	可　児　市